

令和3年度 事業報告書

自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日

社会福祉法人長泉町社会福祉協議会

令和3年度 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会 事業報告

本会では、長泉町地域福祉活動計画及び令和3年度の事業計画に基づき、「ささえあう みんなが笑顔になれるまち」の実現に向けて、行政、民生委員・児童委員協議会、区長連絡協議会、福祉施設、福祉団体並びに関係機関との連携を図りながら、町民の皆様と協働して社会福祉事業を推進した。

なお、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業ごとの内容は、次葉より報告する。

令和4年5月27日

社会福祉法人長泉町社会福祉協議会

会 長 芹 澤 和 代

令和3年度 事業報告書 目次

ページ

I 社会福祉事業

1 法人本部拠点区分

1-1 法人運営事業	1
1-2 地域福祉活動事業	15
1-3 福祉総合相談事業	31
1-4 共同募金助成金事業	37
1-5 手話通訳者派遣事業	40
1-6 小口資金貸付事業	42
1-7 生活支援体制整備事業	43
1-8 認知症初期集中支援チーム事業	49
1-9 権利擁護推進事業	51

2 老人福祉センター拠点区分

2-1 福祉会館事業	52
------------	----

3 介護サービス事業拠点区分

3-1 居宅介護支援事業	61
3-2 指定通所介護事業	64
3-3 指定認知症対応型通所介護事業	68
3-4 指定訪問介護事業	71
3-5 障害福祉サービス居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業	73
3-6 移動支援事業	74
3-7 地域活動支援センター事業	75

II 公益事業

1 在宅福祉総合センター事業	77
2 在宅福祉総合センター食堂事業	83

事業報告の附属明細書	87
------------	----

I 社会福祉事業

1 法人本部

1-1 法人運営事業

1 会員の拡充と基本財源の確保

本会の支援基盤及び財政的基盤を強化し健全な運営を図るため、会員の募集を行った。

(1) 会員募集結果（令和4年3月31日現在）

令和3年度	会員数	会費収入
普通会員	12,139 口	3,641,700 円
特別会員	262 口	262,000 円
合 計	12,401 口	3,903,700 円
前年比	△142 口	△43,500 円

(2) 会員数の推移

年 度	令和2年度	平成31年度	平成30年度
普通会員	12,280	12,257	11,995
特別会員	263	245	264
合 計	12,543	12,502	12,259
会費収入	3,947,200 円	3,922,000 円	3,862,500 円

【事業の実績】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により区長会が開催されなかったことから書面で各区に対し会員募集の依頼をした。一部の区では収納の遅れが見られたものの、会員数は概ね横ばいで推移している。

また、皆様からお寄せいただいた会費がどのように活用されているか、広報やチラシを通して事業を紹介するとともに、本会ホームページで会費についてのQ&Aを掲載し、会費に対する十分な理解が得られるよう啓発に努めている。

2 定款・規程等の整備

(1) 規程等の整備

① 生活支援体制整備事業第2層協議体運営費補助金交付要綱の制定

第2層協議体の活動に対する運営費の補助を行い運営基盤の安定化を図ることを目的として、社会福祉充実計画に基づく補助金交付要綱を新設した。
(令和3年8月1日制定)

② 押印廃止に伴う要綱の一部改正

事務の簡素化のため申請書類等の押印見直しを行い、関連する下記の要綱の一部改正を実施した。(令和3年10月1日施行)

- ・ひとり暮らし高齢者福祉電話設置事業実施要綱
- ・小口資金貸付要綱
- ・後援名義承認事務取扱要綱

③ 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会育児・介護休業に関する規程の一部改正

平成29年の法改正に対応できていなかった箇所の一部改正を実施した。(令和3年10月1日施行)

また、令和4年4月からの法改正に合わせ、一部改正を実施した。(令和4年4月1日施行)

④ 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会経理規程の一部改正

計算書類及び附属明細書の名称を正式な名称とし、また勘定科目の追加による一部改正を実施した。(令和3年12月1日施行)

また、社会福祉法人会計基準の一部を改正する省令の施行に伴う項目の追加と、勘定科目の追加による一部改正を実施した。(令和4年3月1日施行)

⑤ 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会ハラスメントの防止に関する規程の制定

パワーハラスメント、セクシュアルハラスメント等のハラスメントを防止するために職員が遵守すべき事項や具体的な禁止行為の他、相談対応や懲戒処分及び再発防止の義務について定める規定を制定した。(令和4年4月1日施行)

⑥ 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会職員の懲戒処分の基準等に関する規程の制定

職員を対象とした懲戒処分について、基準及び懲戒事由の審査等に関する事項、また懲戒処分審査委員会を設けることを定める規定を制定した。(令和4年4月1日施行)

3 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会

第1回理事会 出席理事9名／総数11名、出席監事3名／総数3名

ア 期 日 6月9日(水)

イ 議 題

i 報告事項

第1号議案 会長及び常務理事の職務執行状況の報告

第2号議案 介護保険事業に関わる実地指導の結果及び報告

ii 決議事項

- 第3号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員選任・解任
委員会委員の推薦
- 第4号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会役員候補者の推薦
- 第5号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員選任候補者
の推薦
- 第6号議案 令和2年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業報告
の認定
- 第7号議案 令和2年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計決算
の認定
- 第8号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会社会福祉充実計画
の作成
- 第9号議案 令和3年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計
補正予算（第1回）の認定
- 第10号議案 令和3年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計
予算の執行
- 第11号議案 令和3年度定時評議員会の開催

第2回理事会 出席理事10名／総数11名、出席監事3名／総数3名

ア 期 日 6月24日（木）

イ 議 題

i 報告事項

第12号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員の選任報告

ii 決議事項

第13号議案 会長、副会長の選定

第14号議案 常務理事の選定

第15号議案 顧問の委嘱

第16号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員選任・解任
委員会委員の選任

第3回理事会 出席理事11名／総数11名、出席監事2名／総数3名

ア 期 日 11月25日（木）

イ 議 題

i 報告事項

第17号議案 社会福祉法人に対する指導監査の結果及び報告

第18号議案 会長及び常務理事の職務執行状況の報告

第19号議案 令和3年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会中間
事業報告並びに中間決算に伴う定期監事監査報告

第20号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会育児・介護休業
等に関する規程の一部改正

ii 決議事項

第 21 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会経理規程の一部
改正

第 22 号議案 令和 3 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計
補正予算（第 2 回）の認定

第 23 号議案 令和 3 年度第 1 回臨時評議員会の開催

第 4 回理事会 出席理事 10 名／総数 11 名、出席監事 3 名／総数 3 名

ア 期 日 3 月 17 日（木）

イ 議 題

i 報告事項

第 24 号議案 認知症対応型通所介護事業実地指導の結果及び報告

ii 決議事項

第 25 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会経理規程の一部
改正

第 26 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会育児・介護休業
等に関する規程の一部改正

第 27 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会職員就業規程の
一部改正

第 28 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会嘱託等の就業規程
の一部改正

第 29 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会ハラスメントの
防止に関する規程の制定

第 30 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会職員の懲戒処分の
基準等に関する規程の制定

第 31 号議案 令和 3 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計
補正予算（第 3 回）の認定

第 32 号議案 令和 4 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業
計画

第 33 号議案 令和 4 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計
予算

第 34 号議案 令和 4 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計
予算の執行及び契約の締結

第 35 号議案 役員等賠償責任保険契約内容の決定

第 36 号議案 令和 3 年度第 2 回臨時評議員会の開催

(2) 評議員会

定時評議員会 出席者 15 名／定数 15 名

ア 期 日 6 月 24 日（木）

イ 議 題

- i 決議事項
 - 第1号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会役員の選任
 - 第2号議案 令和2年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業報告の認定
 - 第3号議案 令和2年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計決算の認定
 - 第4号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会社会福祉充実計画の作成
 - 第5号議案 令和3年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補正予算(第1回)の認定

第1回臨時評議員会 出席者14名/定数15名

ア 期 日 12月6日(月)

イ 議 題

- i 報告事項
 - 第6号議案 社会福祉法人に対する指導監査の結果及び報告
 - 第7号議案 令和3年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会中間事業報告並びに中間決算に伴う定期監事監査報告
 - 第8号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会経理規程の一部改正
 - 第9号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の一部改正
- ii 決議事項
 - 第10号議案 令和3年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補正予算(第2回)の認定

第2回臨時評議員会 出席者14名/定数15名

ア 期 日 3月25日(金)

イ 議 題

- i 報告事項
 - 第11号議案 認知症対応型通所介護事業実地指導の結果及び報告
 - 第12号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会経理規程の一部改正
 - 第13号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の一部改正
 - 第14号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会職員就業規程の一部改正
 - 第15号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会嘱託等の就業規程の一部改正
 - 第16号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会ハラスメントの防止に関する規程の制定
 - 第17号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会職員の懲戒処分

基準等に関する規程の制定

第 18 号議案 役員等賠償責任保険契約内容の決定

ii 決議事項

第 19 号議案 令和 3 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補正
予算(第 3 回)の認定

第 20 号議案 令和 4 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業計画

第 21 号議案 令和 4 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計予算

(3) 評議員選任・解任委員会

第 1 回委員会 出席者 3 名 / 定数 3 名

ア 期 日 6 月 1 7 日 (木)

イ 議 題 第 1 号議案 評議員 1 5 名の選任

4 監査及び行政機関調査の実施状況

(1) 監事監査

① 令和 2 年度決算監査

ア 期 日 5 月 2 8 日 (金)

イ 出席者 監事 3 名、会長、事務局長、職員 11 名

② 令和 3 年度中間監査

ア 期 日 1 1 月 1 1 日 (木)

イ 出席者 監事 3 名、会長、事務局長、職員 11 名

(2) 静岡県指導監査

ア 期 日 8 月 3 日 (火)

イ 出席者 県福祉指導課 3 名、事務局長、職員 4 名

(3) 長泉町実地指導

ア 期 日 1 1 月 9 日 (火)

イ 出席者 町長寿介護課 2 名、事務局長、職員 3 名

5 役員研修の実施状況

(1) 市町社会福祉協議会監事研修会 (WEB 及び資料送付により実施)

ア 期 日 4 月 1 2 日 (木) 13 : 00 ~ 14 : 30

イ 参加者 監事 3 名

6 苦情解決窓口設置事業

福祉サービスに対する利用者からの苦情や意見・要望を幅広く汲み上げサービスの改善を図る観点から苦情解決窓口を設置し、次の体制で対応を図った。

(1) 組織体制

苦情解決責任者	秋山 勉
苦情受付担当者	前田宏介、勝又和佳子

第三者委員	須田滋郎、大嶋優子
-------	-----------

(第三者委員任期：令和3年4月26日から令和5年4月25日まで)

(2) 苦情・要望解決の状況

施設名	内 容										計	
	ケア関係		嗜好・選択等		財産管理等		制度・施策等		その他			
	苦情	要望	苦情	要望	苦情	要望	苦情	要望	苦情	要望	苦情	要望
福社会館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いずみの郷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【事業の実績】

当期の苦情、要望件数は0件であった。引き続き、適正な福祉サービスの提供ときめ細かな意見、要望への対応に努めていく。

7 組織体制の整備と職員の資質向上

適正な職員配置による組織運営に努めたほか、研修への参加を通して職員の資質向上を図るとともに、業務に必要な資格の取得について啓発、奨励した。

(1) 職員数の状況

① 年度内の職員数の状況 (単位：人)

	正規	嘱託	パート	短時間 パート	登録	合計
R3. 4. 1	18	10	4	16	10	58
R3. 9. 30	18	10	5	15	10	58
R4. 3. 31	18	9	5	16	10	58

② 年度内の職員数の増減 (単位：人)

増	0	0	2	2	0	4
減	0	△1	△1	△2	0	△4
増減	0	△1	1	0	0	0

③ 年度当初における職員数の比較 (単位：人)

	正規	嘱託	パート	短時間 パート	登録	人事 交流	合計
R3. 4. 1	18	10	4	16	10	0	58
R4. 4. 1	18	7	4	18	10	派遣 1 受入 2	60
増減	0	△3	0	2	0	3	2

(2) 会議・研修参加状況

① 内部研修

令和4年4月1日からパワーハラスメント防止措置が事業主の義務となることから義務化を前にハラスメントへの理解を深めるため実施した。

ア 講師 社会保険労務士法人労務協会 代表 中島誉也氏

イ 期 日 9月3日、9月10日

ウ 参加者 31名

② 外部研修・会議 P10 から P14 参照

(3) 労働安全衛生

① 職員定期健康診断の実施

ア 期 日 8月11日(胃部内視鏡検査のみ8月25日)

イ 受診者 35名

② 人間ドックの実施

社会福祉充実計画に基づき、職員の健康保持の充実を目的として人間ドック・脳ドックの受診を推奨し検診費用を助成した。

ア 期 日 9月8日～10月20日

イ 受診者 15名

③ 職員ストレスチェックの実施

1週間の所定労働時間が30時間以上の職員を対象に実施した。

ア 期 日 8月11日

イ 受験者 37名

8 社会福祉充実計画の作成と実績

令和2年度決算において社会福祉充実残額が算定されたため、社会福祉充実計画を作成し、静岡県知事の承認を受けて計画に基づいて事業を実施した。

(1) 社会福祉充実残額 6,440,000円

(2) 計画年度 令和3年度から令和5年度まで

(3) 計画内容 ①地域ささえあい活動推進事業、②専門職配置安定化事業、
③職員災害対応機能整備事業、④職員健康保持充実事業、
⑤職員育成事業

令和3年度実績

事業名	事業費	実績額	差額 (事業費-実績額)
地域ささえあい活動推進事業	600,000	600,000	0
専門職配置安定化事業	400,000	400,000	0
職員災害対応機能整備事業	1,190,000	649,658	540,342
職員健康保持充実事業	750,000	702,247	47,753
職員育成事業	180,000	158,100	21,900
合計	3,120,000	2,510,005	609,995

9 危機管理体制の整備

近年、住民の身の回りの安心・安全を脅かす自然災害や感染症などが頻発していることから本会の危機管理体制について検討する場を設け、協議を進めた。

- (1) 開催日 7月29日から 計4回開催
- (2) 参加者 事務局職員6名 いずみの郷職員2名
- (3) 内 容 防災マニュアルの改訂、職員災害対応機能整備事業の推進
福祉避難所・災害ボランティアセンター運営について

令和3年度 研修会参加状況（事務局）

日 時	内 容	参加者
4月23日	令和3年度市町社会福祉協議会新任事務局長研修会【Web】	事務局長
4月27日	令和3年度生活困窮者自立支援事業従事者養成研修	職員 1 名
5月20日・21日	令和3年度市町社会福祉協議会新任職員研修会	職員 1 名
6月2日	社会福祉法人静岡県社会福祉協議会・静岡県社会福祉人材センター主催研修 人手不足を正しく分析しよう～何人雇っても足りない理由～【Web】	事務局長
6月16日	多重債務相談研修【Web】	職員 1 名
6月17日	災害ボランティア担当者研修	職員 1 名
6月14日～	ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアム勉強会【Web】（毎月1回実施）	職員 2 名
7月12日	サイボウズ社協職員対象災害支援セミナー【Web】	職員 5 名
7月14日	令和3年度生活困窮者自立支援事業従事者養成研修	職員 1 名
8月1日～ 12月24日	令和3年度包括的相談支援体制構築事業人材養成研修【動画視聴・Web】	職員 1 名
8月1日～ 1月31日	社会福祉法人会計実務講座（初級）【Web】	職員 1 名
8月17日	成年後見制度 意思決定支援に係る実務研修【Web】	職員 2 名
9月6日	令和3年度全国福祉教育推進員研修【Web】	職員 1 名
9月16日・30日	令和3年度地域福祉コーディネーター・リーダー研修【Web】	職員 1 名
9月16日～ 9月29日	社会福祉法人予算管理講座【Web】	事務局長 職員 1 名
10月12日	ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアム勉強会	職員 2 名
10月29日	成年後見制度利用促進セミナーin 静岡（第6回）	職員 2 名
11月8日	ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアム勉強会	職員 2 名
11月11日	生活困窮者自立支援事業従事者養成選択研修	職員 2 名
11月18日	地域生活課題の解決に向けたソーシャルワーク研修【Web】	職員 1 名
11月30日	令和3年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会 職員研修 「地域福祉活動計画のキホン」	事務局長 職員 1 名
12月2日	多重債務相談研修【Web】	職員 2 名
12月12日	5市3町災害ボランティア研修【Web】	職員 1 名
12月13日	ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアム勉強会	職員 2 名
12月14日	日常生活自立支援事業現任生活支援員研修	職員 1 名
12月17日～ 12月18日	第16回静岡県内外の災害ボランティアによる救助活動のための図上訓練 【Web】	職員 1 名

12月22日	生活困窮者研修会	職員 1 名
12月23日	令和3年度地域共生推進フォーラム【Web】	職員 1 名
1月11日	ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアム勉強会	職員 1 名
1月20日	令和3年度コミュニティワーク研修 地域福祉活動計画の評価・分析編【Web】	事務局長 職員 1 名
1月21日	成年後見制度利用促進広域研修（中核機関設置運営編）	職員 2 名
2月1日	第2回東部ブロック社協連絡会研修会【Web】	事務局長 職員 5 名
2月2日	ひきこもり支援地域連絡協議会	職員 1 名
2月7日	成年後見制度利用促進セミナーin静岡 特別編【Web】 ～地域連携ネットワークづくりのヒント～	事務局長 職員 1 名
2月9日	令和3年度生活支援コーディネーター研究協議会【Web】	職員 1 名
2月14日	令和3年度認知症初期集中支援チーム員現任者研修会【Web】	職員 1 名
2月18日	日常生活自立支援事業専門員連絡会	職員 1 名
2月21日	個別避難計画（災害時ケアプラン）作成事業報告会【Web】	職員 3 名
2月22日	令和3年度地域福祉ファシリテーター・リーダー研修会ファシリテーター振り返り会【Web】	職員 1 名
2月28日	令和3年度第2回「福祉のお仕事魅力発見セミナー」講師意見交換会【Web】	職員 1 名
3月1日	令和3年度介護保険部会全体会	職員 1 名
3月3日	令和3年度施設経営法人・社会福祉協議会合同研修会 ～地域公益活動の推進と法人間連携を考える～【Web】	事務局長 職員 2 名
3月7日	後見人等への意思決定支援研修	職員 2 名
3月8日	令和3年度災害ボランティアセンター立上げ訓練に代わる研修会【Web】	事務局長 職員 1 名
3月8日～ (6月30日)	市町社会福祉協議会決算実務研修会【Web】	職員 1 名
3月9日	災害ボランティア担当者研修【Web】	職員 1 名
3月14日	成年後見制度利用促進広域研修視聴	職員 1 名
3月17日	市区町村社協介護サービス経営研究会第4回オンラインサロン ～科学的介護情報システム（LIFE）と人材確保～【Web】	職員 1 名
3月23日	令和3年度災害ボランティアセンター立上げ訓練に代わる研修会(2)【Web】 災害ボランティアセンターで活用した「キントーン」について学ぼう	事務局長 職員 3 名

令和3年度 会議等参加状況（事務局）

日 時	内 容	参加者
5月25日	令和3年度市町社会福祉協議会事務局長会議【Web】	事務局長
6月15日	令和3年度静岡DWAT東部支部活動検討会(支部立ち上げ総会)【Web】	職員1名
6月18日	令和3年度静岡県の地域福祉を考えるブロック会議全体会【Web】	職員1名
7月21日	令和3年度静岡県の地域福祉を考えるブロック会議	職員1名
9月1日・2日	いきがい・助け合いサミットin神奈川【Web】	職員1名
10月5日	令和3年度生活困窮者自立支援コンソーシアム東部ブロック会議	職員1名
12月1日	令和3年度生活困窮者自立支援コンソーシアム東部ブロック会議	職員1名
12月13日	令和3年度第2回市町社会福祉協議会 生活福祉資金貸付け業務に係る事務局長会議【Web】	事務局長
2月3日	令和3年度生活困窮者自立支援コンソーシアム運営会議	職員1名
3月1日	令和3年度市町社会福祉協議会会長会議【Web】	会長 事務局長
3月16日	生活福祉資金担当者会議	職員2名

令和3年度 会議・研修会等参加状況（いずみの郷）

日 時	内 容	参 加 者
4月7日～26日	介護支援専門員更新研修	居 宅 介 護 支 援 1 名
4月16日	ホームヘルパー連絡協議会 令和2年度監事監査	訪 問 介 護 1 名
5月18日	長泉町自立支援協議会 事業所部会	居宅介護・重度訪問介護・同行援護 1名
5月19日	ホームヘルパー連絡協議会 令和3年度第1回理事会	訪 問 介 護 1 名
6月15日～10月25日	介護支援専門員更新研修【Web】	居 宅 介 護 支 援 1 名
6月21日	福祉職員のメンタルヘルス講座【Web】	認知症対応型通所介護1名
7月9日	排泄ケアwebセミナー【Web】	一般型通所介護 1名
7月9日～8月16日	同行援護従業者養成研修	居宅介護・重度訪問介護・同行援護 1名
8月20日	相談員のための支援力アップ講座【Web】	一般型通所介護 1名
9月1日～11月15日	社会福祉法人会計実務講座（中級）【Web】	セ ン タ ー 1 名
9月27日	心と体を癒すタッチケア【Web】	認知症対応型通所介護1名
9月28日	「動き出しは本人から」の介護実践【Web】	認知症対応型通所介護1名
9月30日	ホームヘルパー連絡協議会 一般研修会【Web】	訪 問 介 護 1 名
10月1日～12月5日	社会福祉法人会計実務講座（初級）【Web】	セ ン タ ー 1 名
10月1日～12月31日	市町社会福祉協議会会計実務研修会【Web】	セ ン タ ー 1 名
10月9日～10月31日	同行援護従業者養成研修	居宅介護・重度訪問介護・同行援護 1名
10月21～2月3日	主任介護支援専門員更新研修【Web】	居 宅 介 護 支 援 1 名
10月29日	利用者に心地よく介護者に優しい 介護技術講座【Web】	一般型通所介護 1名
11月8日～11月9日	同行援護従業者養成研修	居宅介護・重度訪問介護・同行援護 1名
11月16日	長泉町自立支援協議会事業所部会	居宅介護・重度訪問介護・同行援護 1名
11月17日	ケアプランA I 研修 北包括	居 宅 介 護 支 援 3 名
11月13日～11月20日	ケアマネジャー在宅医療研修	居 宅 介 護 支 援 1 名
11月16日	認知症研修会 実際の事例を通したカンファレンス内部研修	一般型通所介護3名 認知症対応型通所介護3名
11月25日	静岡県ホームヘルパー連絡協議会第3回理事会【Web】	訪 問 介 護 1 名
11月30日	令和3年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会 職員研修「地域福祉活動計画のキホン」	セ ン タ ー 1 名
12月2日	令和3年度社会福祉施設等職員防災研修【Web】	セ ン タ ー 1 名

令和3年度 会議・研修会等参加状況 (いずみの郷)

日 時	内 容	参 加 者
12月10日	県災害ボランティア本部・情報センターの機能と技術系支援者の役割・7月豪雨富士市災害ボランティア立ち上げまでの経緯	セ ン タ ー 1 名
12月13日	令和3年度障害福祉サービス事業所等の集団指導及び事業所説明会【Web】	居宅介護・重度訪問介護・同行援護 2名
1月18日	認知症研修会 ご家族様への対応と連携 内部研修	一般型通所介護3名 認知症対応型通所介護3名
1月20日	駿東田方圏域地域包括ケア推進ネットワーク会議	訪 問 介 護 1 名
1月27日	長泉町自立支援協議会事業所部会	居宅介護・重度訪問介護・同行援護 2名
2月1日	第2回東部ブロック社協連絡会研修会【Web】	セ ン タ ー 1 名
2月17日	長泉町ケアマネ研修会	居 宅 介 護 支 援 3 名
3月8日（～6月30日）	市町社会福祉協議会決算実務研修会【Web】	セ ン タ ー 1 名
3月10日	静岡県ホームヘルパー連絡協議会第4回理事会【Web】	訪 問 介 護 1 名
3月23日	令和3年度災害ボランティアセンター立上げ訓練に代わる研修会(2)【Web】 災害ボランティアセンターで活用した「キトン」について学ぼう	セ ン タ ー 1 名

1-2 地域福祉活動事業

1 地域福祉活動計画における4つの施策の方向の推進と調査研究事業

(1) 施策の方向1「誰もが安心して生活できる地域での居場所づくり」

(1)-1 高齢者の活躍の場の提供

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、講座の開催を見送った。

(1)-2 みんなで悩みを話し合える機会づくり

① 小地域福祉活動推進事業

地域住民が、地域の福祉課題の発見と解決を主体的に行うことを目標として、小地域福祉活動推進事業を実施した。自治会単位のサロン活動などを通して、住民主体による福祉活動の充実を図った。

本年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、活動や取組みが例年通りにできない状況が続いた。

ア 活動区 20区

イ 活動費の助成 1区あたり年額50,000円を上限に必要額

ウ 連絡会

例年4月に開催していたが、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令のため連絡会の開催は見送った。

② サロン活動の支援

自治会公民館で実施する介護予防、認知症予防、閉じこもりの解消、交流などのための行事（レクリエーションや簡単な体操など）への支援（シニアクラブ長泉活動推進相談員と連携協力）及び使用する用具の貸出を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の状況からレクリエーション研修会が実施できなかったため、代わりに、シニアクラブ長泉活動推進相談員として体操等を行っている杉山高司氏に協力を依頼し、サロン活動で活用できる体操のDVD制作をした。

(1)-3 気軽に利用できる地域の子育て支援組織の拡充

小地域福祉活動の一環として、未就園児の子どもや保護者がふれあう場づくり活動を支援し、運営協力者の発掘や人材育成に取り組んだ。

① 三軒家区&エンゼル西区（7年目）

三軒家区公民館で三軒家区・エンゼル西区の親子に遊び場を提供した。



三軒家区&エンゼル西区子育てサロン

【事業の成果と課題】

小地域福祉活動推進事業

昨年度に引き続き、コロナ禍の影響で思うように活動ができない状況が生じた。今後もしばらく同様の状況が続くと予測されるなか、地域での繋がりづくりをどのように支援していくか課題である。

(2) 施策の方向2「地域福祉を担う人づくり」

(2)－1 福祉の心を育む力

日頃から地域でのあいさつや声かけ、顔の見える関係となるよう心がける地域づくりと、子どもの頃から高齢者や障がいのある人とのふれあいを通じて、福祉の心を醸成・育成するとともに、様々なボランティア団体への支援、研修会を企画し、福祉の担い手の育成を図った。

① 福祉教育実践校事業

児童及び生徒の社会福祉への理解と関心を高め、地域社会を巻き込んだ地域福祉教育を目指し、福祉教育実践校活動を推進した。

ア 活動費の助成 1校あたり年額100,000円を上限 6校申請有り

イ 担当者打合せ会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実践校に対し、個別の打ち合わせを実施した。

ウ 活動の相談、支援

各校がそれぞれ抱える福祉教育における課題について、計画の段階から相談に応じ、事業の実施まできめ細かに支援を行うことで、各校の課題に合わせた福祉教育事業を展開した。

指定校	実施日	活動内容	備考
長泉小学校	10月28日(木) 11月8日(月) 12月17日(金)	長小3年福祉教育 社会福祉協議会出前講座 手話講習会 車椅子に触れてみよう	通算27年目
南小学校	1月25日(火) 1月31日(月)	南小6年生卒業式手話歌指導 撮影 南小3年生福祉教育 ・手話講座撮影 ・障がい福祉講座撮影	通算28年目
北小学校	7月5日(月) 7月9日(金)	北小3年福祉教育 耳が聞こえない人の話 「ふくしのこころ」の授業	通算27年目
長泉中学校	11月11日(木)	長中2年職業講話	通算28年目
北中学校	9月27日(月) 10月18日(月) 11月22日(月)	北中2年総合学習 ・防災の話・障がいの理解 ・災害時のトイレ、避難所 ・HUG訓練	通算27年目

北中学校	1月24日(月)	北中1年総合学習 ・認知症サポーター養成講座	
知徳高等学校	9月13日(月)	・福祉の国家資格3福祉について	通算26年目
	9月14日(火)	・3福祉の活躍の場を知り、今できることを考える	
	9月17日(金)	・高齢者福祉、障がい福祉、地域福祉を考える	



ろうあ部による手話講座



福祉に関する国家資格について説明



お母さん目線での防災教育



リモート授業の様子



障がい福祉講座撮影の様子



手話歌指導撮影の様子

- ② 夏休み中学生福祉体験学習
今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

(2)ー2 福祉を担う人づくり

① ボランティア団体の支援

ボランティア活動を円滑に進めるため、活動の拠点となる福祉団体室、ボランティアルームの貸出しを行うとともにボランティア団体を把握し連絡調整を行った。

※長泉町ボランティア連絡会加入団体（5月26日現在）

- ・団体数 28団体（前年度比4団体減）
- ・会員数 728名（前年度比53名減）

② ボランティア情報提供事業

ボランティア活動への参加促進を図るため広報啓発活動を行った。

- ア 『社協だより』…ボランティア情報
- イ ホームページ…ボランティア情報（ボランティアとは・団体紹介）
- ウ ボランティア情報館内掲示…福祉会館いずみの郷連絡通路設置

③ ボランティア活動支援事業

ア ボランティア保険への加入

全社協のボランティア保険へ加入事務の手続きを行った。

- ・加入件数：個人22件、団体5件
- ・加入者数：168人

イ マイクロバスの運行による活動支援

新型コロナウイルス感染症の影響による福祉施設でのボランティア受入中止を受けて、マイクロバスの運行を中止した。

ウ 福祉会館会議室等の利用料減免

登録ボランティア団体に対し、会議室等の利用料減免を行った。

エ 収集品の受け入れ窓口の開設及び送料の負担

使用済み切手、使い古しの木綿布の収集を行った。収集品はボランティアにより整理された。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により使用済み切手受入先が収集品受付を休止しているため、整理された収集品は福祉会館で保管している。

オ 給食ボランティア衛生管理

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、いずみの郷厨房における給食ボランティア活動を休止とした。

④ ボランティア相談事業

ボランティア入門、活動上の相談、支援の依頼等16件の相談及び需要調整を行った。

⑤ 関係機関・団体との連携

ア 長泉町ボランティア連絡会事務局

町内のボランティアグループが協働し、ボランティア活動の振興を図るため設置するボランティア連絡会へ支援を行った。

- ・事業等の運営に対する支援（正副会長会議、理事会の開催等）
- ・事業運営費の補助（300,000円）

イ 福祉施設との連携と情報の共有体制の確立

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傾聴ボランティア等の受入休止が続いている。

(2)ー3 地域福祉活動への参加促進

① 福祉健康まつり開催事業

福祉・健康・介護に関する事業の啓発と福祉会館、健康づくりセンター、いずみの郷の施設の紹介を行い、関係団体の参加の輪を広げ、来場者との相互の交流を図ることにより、地域ぐるみの福祉意識の高揚、健康づくりの推進、介護保険制度の普及促進を図ることを目的として10月第3日曜日に福祉健康まつりを開催している。

今年度は実行委員会において新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたなかでの実施方法などを検討し、福祉・健康・介護に関するクイズまつりをオンライン上、またはチラシ応募により12月に開催した。その後、1月下旬に全問正解者から抽選し、2月上旬に当選者に景品を発送した。なお、抽選は実行委員長、副実行委員長、社協事務局長立ち会いのもとで実施した。

応募総数780件、全問正解者603人、当選者199人

【事業の成果と課題】

1 ボランティア活動支援事業

7月の熱海市豪雨災害のボランティア登録の関係で、14名がボランティア活動保険に加入した。加入者は勤労者が多かったこともあり、来館の回数を減らすなど加入事務を見直してボランティア活動者の負担を軽減するよう事務改善した。

また、今年度新たに立ち上がったボランティア団体「フードバンク『てとて』」の食料品収集・配布活動に対し、福祉会館ボランティアルーム活用調整などの協力や、生活困窮者事業のチラシ配布依頼などを行い、ボランティア活動者とともに困りごとを抱えた方への支援を行った。

なお、上記フードバンク「てとて」の他、今年度は新たな地域活動者と接点を持つことができた。東海道シグマ調整による町内で子ども食堂に関心のある個人・団体との顔合わせへの参加、自治会班活動として防災の視点から、子どもがクリスマスプレゼントを高齢者世帯に届ける活動を通じた繋がりづくりの見学などを通し、活動場所や資金が必要という意見を把握した。今後も活動者と地域福祉活動推進に必要なことを共有しながら、支援できることを考えていきたい。

2 福祉の心を育む力

福祉教育実践校6校に対し、子どもや学校が地域福祉と繋がるようなプログラムを考え提案し、地域福祉教育推進のために働きかけをおこなうことに尽力した。

今年度新たな活動として、地域福祉教育として赤い羽根共同募金が「自分のまちを良くするしくみ」であり、その地域福祉活動に「自分たちが参加すること」を学べるよう、町内小学校に社協職員の講話と募金箱ポップ作りを提案した。児童が作成したポップを貼った募金箱は学校募金や町内社会福祉法人、マックスバリュエクスプレス長泉店に設置し活用した。知徳高等学校のインターアクト部には、社協職員の講話と社協公用車に貼るマグネット

シート作りを提案したところ、コロナ禍で生徒のボランティア活動機会が減少していたこともあり取り組んでいただけた（経費は共同募金助成金事業）。



募金箱ポップの一例



マグネットシート

(3) 施策の方向3 「いざというとき連携・協力できる地域づくり」

(3)ー1 みんなでつくる安全・安心なまちの確保

①「長泉ライオンズクラブ・長泉町社協災害時のボランティア支援に関する連携協定」

締結日 5月31日（月）

場 所 長泉町福社会館

内 容 災害発生時、長泉ライオンズクラブは当社協の要請を受け災害ボランティアが使用する資機材を提供し、活動拠点に必要な支援を行う。



連携協定締結式

②「避難行動要支援者対応に関する打合せ」

開催日 7月6日（火）、8月3日（火）、10月26日（火）、12月9日（木）

場 所 長泉町防災センター3階

参加者 該当区区長・自主防災会長、該当自主防災分団、自主防災連合会長、福祉保険課、長寿介護課、社協、ケアマネジャー連絡協議会、地域包括支援センター
※会議内容によって参加メンバーの変更あり

内 容 令和元年度台風19号襲来時に課題になったことを共有し、避難行動要支援者を公民館等で受け入れた際のサポート・連絡体制等について平常時に話し合い、いざという時に

備えていく。

③「静岡県東部豪雨災害被災地支援」

ア 日 程 7月12日(月)～14日(水)

場 所 熱海市

内 容 DWATとして職員1名派遣

イ 日 程 7月19日(月)～21日(水)

場 所 沼津市地域ささえあいセンター

内 容 職員2名派遣

④「5市3町災害ボランティア研修」研修会

開催日 12月12日(日)

場 所 福社会館1階集会室、他個人宅等

参加者 職員1名、災害ボランティアネットワーク長泉会員6名

内 容 7月豪雨災害の時の沼津市社協の対応について等

⑤「第16回静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練」研修会

開催日 12月17日(金)、18日(土)

場 所 福社会館ボランティアルーム、他個人宅等

参加者 職員1名、災害ボランティアネットワーク長泉会員5名

内 容 県内外の災害ボランティアと関係者が平常時から信頼関係の構築と情報交換を行い、市域・県域・県外の繋がりを意識した支援体制づくりを図ることを目的として、静岡県ボランティア協会が主催として実施した。

⑥「令和3年度災害ボランティアセンター立上げ訓練に代わる研修会」

開催日 3月8日(火)

場 所 いずみの郷集会室(集合型会場)、他個人宅等

講 師 特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄(りじんてつ)氏

参加者 26名(内社協役職員6名)

内 容 WEBで講義する形式で実施。災害ボランティアセンターの基礎的知識と一部被災時の被災者支援活動に関わる社会福祉協議会の活動について社協職員と地域の活動者がともに学習した。

⑦「令和3年度災害ボランティアセンター立上げ訓練に代わる研修会②」

開催日 3月23日(水)

場 所 福社会館研修室(集合型会場)、他個人宅等

講 師 サイボウズ災害支援チーム リーダー 柴田哲史氏

参加者 24名(内社協職員7名)

内 容 WEBで講義する形式で実施。熱海市災害ボランティアセン

ター等で業務に使用したサイボウズ社の WEB データベース型業務アプリ「キントーン」について社協職員と地域の活動者がともに学習した。

【事業の成果と課題】

1 令和3年度災害ボランティアセンター立上げ訓練に代わる研修会

講師も WEB を通じて講話する形式での研修を初めて実施した。コロナ禍により災害ボランティアセンター立上げ訓練を従来通りの方法で実施することが困難であり、また、地域の活動者とともに勉強する機会が減少している中で、今年度は近隣の沼津市、富士市、熱海市で7月豪雨による災害があった。災害ボランティアセンター運営の見直しや、災害時につながる平時からの活動につなげていくことを目的として実施したが、災害ボランティアネットワーク長泉以外の団体の方にも参加していただけたので、次年度にそのつながりを活かしていきたい。

(3)ー2 総合的な総合相談体制の確立

① 福祉情報発信力の強化

令和3年5月から社協だよりをリニューアルし情報発信を行った。これまで毎月発行していたが、年間5回とし、地域福祉活動や福祉情報をまとめ発行した。社協だよりとホームページとを連動し情報提供を行った。

社協広報誌『社協だより』 発行部数 17,400 部

5月1日号 (No.269)、7月1日号 (No.270)、10月1日号 (No.271)、
1月1日号 (No.272)、3月1日号 (No.273)

(4) 施策の方向4「住民・民間・社会福祉協議会・行政との協働」

① 民生委員・児童委員協議会活動との連携

地域福祉活動を推進するため、日頃から民生委員・児童委員との連携を図るとともに活動費の支援を行った。

・役員会 月1回 初旬 ・定例会 月1回 中旬

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、社会的距離の確保やリモート会議の活用などを図った。

なお、緊急事態宣言の発令に伴い、8月、9月、1月、2月の定例会は中止になった。

・「地域ブロック会議」への参加

民生委員・児童委員活動を通じた地域の特色や課題を把握し、地域福祉活動の推進に活かすために地域ブロック会議に参加する。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議は中止している。

・地域ブロック長会議 計2回参加

・町社協事業協力費補助金 450,000円

※コロナ禍における協働については、(4)在宅福祉サービスの推進を参照

② 行政との協働

認知症やひとり歩き高齢者などの見守り支援体制のネットワーク化を図り、みんなで見守る、子どもやお年寄りにやさしい町とするため、関係各方面との情報連絡体制の強化に努めた。

ア 「認知症を考える地域会議及び認知症初期集中支援チーム検討委員会」への参画

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会議開催なし。

イ 生活支援体制整備事業との連携

- ・情報共有、地域福祉活動の相談協力：適宜

ウ 地区活動支援担当者連絡会への参加

地域活動を推進する役場担当課と、情報を共有することを目的とした会議だが、今年度は未実施。

エ 長泉わくわくまつりへの参加

新型コロナウイルス感染症の影響で「長泉わくわくまつり」が中止。

③ 社会福祉法人との連携

法人間連携の枠組みを町内8法人によるプラットフォームを設置し、人材確保や防災など、共通のテーマでスケールメリットを活かした取り組みを行い、地域の福祉基盤の底上げ、広域での地域貢献活動に向け連絡会を開催した。

ア 社会福祉法人・施設連絡会 4回

防災関連に精通したアドバイザーと協働し、福祉避難所の設置、運営について疑問点や不安な部分を法人間で共有すると共に関係機関と協議を図りいざというときにスムーズな避難所の設置や運営に繋げられる仕組みを構築するために防災連携について取り組んだ。



連絡会会長の選出



オンライン講義の様子

イ 魅力発信コンテンツ制作プロジェクト

福祉の魅力を伝えると同時に福祉人材確保に向け、昨年度に制作したポスターの掲示、パンフレットの配付、動画配信を行った。



ウェルピアながいずみ、コミュニティながいずみに掲示

ウ 福祉啓発イベント

若年層に福祉に関心を持ってもらい、働きたいと思える福祉のイメージ作りを図るため、夏休み福祉啓発イベントを計画したが、町内の新型コロナウイルス感染者の増加により中止となった。



施設法人合同で保育、障がい、高齢の魅力を発信するための打合せ

エ 社会福祉法人連携合同説明会

開催日 11月26日(金)

場 所 長泉町文化センターベルフォーレ

内 容 社会福祉人材センター、ハローワーク主催の説明会において、福祉専門職による福祉の仕事や、魅力について伝えた。

オ 防災アドバイザーによる個別相談

福祉避難所の設置、運営やBCPなどについて施設個別相談の機会を設けた。

アドバイザー officeSONOZAKI 代表 園崎秀治氏

相談利用施設 社会福祉法人聖家族の園、社会福祉法人蒼樹会、社会福祉法人長泉町社会福祉協議会(事務局・いずみの郷)

④ 第6次長泉町地域福祉活動計画策定

令和4年3月に「第6次長泉町地域福祉計画・第5次長泉町地域福祉活動計画」が計画期間を満了するため、第7次長泉町地域福祉計画と一体的に策定した。なお、策定に関わるアンケート調査実施、分析、計画書の構成や印刷等の業務は、(株)サーベイリサーチセンター静岡事務所に委託した。

ア 計画書作成部数 100冊、概要版 100冊

イ 長泉町福祉施策推進・評価委員会に出席

ウ 地域福祉活動計画策定に伴うアンケート調査の実施

町内の福祉団体やボランティア活動者等へアンケート調査を実施した。調査期間は9月14日(火)～30日(木)。

エ 地域福祉活動計画について学ぶ職員研修を実施

開催日 11月30日(火)

場 所 いずみの郷集会室

講 師 駒澤大学 教授 川上富雄氏

参加者 職員11名、近隣市町社協職員14名

内 容 地域福祉活動計画の基本的な理解ができるよう、地域福祉活

動計画における社協の役割や、活動計画の柱として欠かせない要素などについて学習した。

オ 理事会・評議員会において計画策定経過の報告

カ パブリックコメント募集期間の周知ブース設置

12月24日（金）から1月25日（火）の間、福社会館3階のエレベーター横にパブリックコメントを募集している周知文を掲示し、素案を1冊設置した。

(4) 在宅福祉サービスの推進

ア メッセージの配布活動

新型コロナウイルス感染症の影響で民生委員による訪問活動などが減少し、高齢者から孤独感や不安を感じる声が挙がっているため、昨年に引き続き、民生委員・児童委員協議会と協働し、メッセージを届ける活動を行った。

発行日	メッセージ発信日	メッセージ	印刷部数
4/12	4/12(定例民児協)	さくら号	1,000枚
5/10	5/10(定例民児協)	バラ号	1,000枚
6/14	6/17(定例民児協)	あじさい号	1,025枚
7/12	7/12(定例民児協)	百日紅号	1,105枚
10/18	10/18(定例民児協)	8月号	907枚
10/18	10/18(定例民児協)	9月号	903枚
10/18	10/18(定例民児協)	10月号	974枚
11/8	11/8(定例民児協)	11月号	1,000枚
12/13	12/13(定例民児協)	12月号	1,099枚
3/28	3/28(定例民児協)	1月号	1,081枚
3/28	3/28(定例民児協)	2月号	1,083枚
3/28	3/28(定例民児協)	3月号	1,095枚

※8月、9月、1月、2月は民児協定例会議が中止となり活動延期

イ シトラスリボンづくり

コロナ禍によりひとり暮らし高齢者の外出機会や人と会う機会が減っているため、繋がりを実感できる機会の提供事業として、昨年度よりシトラスリボンづくりを開始した。

サポートボランティアにシニアクラブ長泉、民生委員・児童委員協議会、身体障害者福祉会の協力を受け、地域住民の参加も増加している。

なお、制作したシトラスリボンは、福社会館やいずみの郷、福祉教育実践校事業等で児童・生徒に地域住民からのプレゼントとして配布した。

実施日	会場	参加者（名）	ボランティア（名）
4/6	上土狩区公民館	11	0
4/19	いずみの郷集会室	13（参加者・ボランティア合計）	

4/28	三軒家区公民館	9	0
5/21	いずみの郷集会室	10	5
5/23	高田区公民館	11	1
6/4	本宿区公民館	11	0
6/26	新屋町下区公民館	10	0
6/28	いずみの郷集会室	18	5
7/16	中土狩区	(材料提供のみ)	
7/29	いずみの郷集会室	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止	
8/18			
10/21	いずみの郷集会室	5	2
11/22		2	4
12/3	いずみの郷集会室	参加者がいなかったため折り紙の正月飾りづくりをボランティアと実施	
1/23	鮎壺区	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止	
1/27	いずみの郷集会室		
2/18			
3/5			



シトラスリボン制作の様子

ウ 緊急通報システム「福祉電話」設置事業

長泉町に居住するおおむね65歳以上でひとり暮らし高齢者を対象に、福祉電話を設置し、緊急時の通報体制の確立を図った。

設置状況

	設置数
令和3年3月末	96
令和4年3月末	92
増減内訳	取付4 撤去8

エ ひとり親家庭親子交流事業

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日帰り旅行は中止となった。

オ 視覚障がい者情報提供事業

目の不自由な方に対する公共的な情報の提供を行うためボランティアの協力を得て声の広報発行事業や点字による情報提供事業を実施した。

i 声の広報発行事業

新型コロナウイルス感染症拡大のため、8月～9月、1月末～3月まで音声訳ボランティアの活動が休止となり、行政及び利用者6名に連絡調整を行った。

また、9月12日の町の選挙に関わる広報や表示は、従来は「声のサークルあけぼの」「点訳サークルきつつき」の協力を得ているが今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響でボランティア活動を休止している時期であったため協力を得ることができなかった。

- ・『広報ながいずみ』15回発行
- ・『議会だより』3回発行
- ・『社協だより』4回発行

ii 点訳の支援

点字による情報提供が円滑に推進されるよう、福祉団体室内の点字プリンターやパソコンを点訳活動に活用できるようにしている。

カ 車椅子貸出事業

介護保険制度で貸与が非該当となる事例に対し介護者の負担軽減を図るため車椅子を貸出した。

また、学校等で福祉教育の教材として使用する場合、無料で車椅子を貸出した。

今年度は、新型コロナウイルスワクチン接種会場や選挙時の投票所など公共施設への貸出依頼があった。

- ・貸出期間、自己負担 1ヶ月 480円（3ヶ月を限度とする）

車椅子貸出状況

	個人向け貸出件数	教材等貸出件数	公共施設貸出件数
令和3年3月末	24	8	
令和4年3月末	38	15	2
増減	14	7	2

キ 新入学児童黄色い帽子贈呈事業

児童の健全育成と交通安全を祈念する目的で、小学校新入学児童への交通安全帽子を入学時に贈呈した。（経費は令和2年度分）

- ・該当者数 男子264名 女子219名 合計483名

(4) 福祉団体への支援

① 事業概要

高齢者や戦没者遺族、障がい者等当事者及び家族、又は支援者によって結成された各福祉団体に対し、それぞれの目的達成に向けた活動が円滑に行われるよう、運営費の助成や連絡調整、コピー機等の無償提供、福祉会館等貸室利用料の免除、研修などの支援を行った。

また、団体事務局の設置が必要な団体には担当職員を配置し、行事企画運営や参加者取りまとめ等、会務運営の支援を行った。

② 事業内容

- ・福祉団体助成金交付事務
- ・団体事務局の運営（シニアクラブ長泉、遺族会、手をつなぐ育成会）
- ・団体会員及び上部団体等との連絡調整

③ 事務局設置団体

ア シニアクラブ長泉

健康・友愛・奉仕活動を通じて仲間づくり、健康づくりなど生活を豊かにする楽しい活動、地域を豊かにする社会活動を推進する地縁高齢者団体のシニアクラブ長泉に対して支援した。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会議の一部、行事全般を縮小、延期、中止したなか広報活動等を中心に支援した。

i 会務運営支援

- ・総会（書面決議）
- ・三役会、理事会、友愛部会、健康部会、プラスワン委員会
- ・上部団体及び単位クラブ連絡調整

ii 健康・文化活動事業支援

- ・第52回グラウンドゴルフ大会（5/6、5/20 予選会、6/3 決勝大会）
- ・ながいずみクリーンアップ作戦（9月15日～21日）
- ・健康ウォーキング事業（各クラブで実施）
- ・第47回スポーツ大会（新型コロナウイルス感染症拡大防止の為中止）
- ・第29回輪投げ大会（11/26開催）
- ・第1回フライングディスク大会（12/3開催）
- ・第53回グラウンドゴルフ大会（11/4、11/11 予選会、11/18 決勝大会）
- ・サークル等活動への支援（グラウンドゴルフ、長泉音頭&レクダンス、折り紙&手芸：シトラスリボンプロジェクトへの参加、フラダンス、健康美体操、いきいき気功、学び直し教室、健康ボウリング）
※健康マーじゃん（中止）
- ・健康ストレッチ教室（前期4月～9月・後期10月～3月）

iii 友愛活動その他活動支援

- ・友愛交流会（中止）、交流研修会（中止）
- ・広報紙「シニアクラブ長泉だより」の編集発行（9月号・1月号）
役員向け広報「シニアクラブ長泉だより」の発行（毎月）
- ・シニアクラブ長泉紹介冊子の編集発行（3月）

- イ 長泉町遺族会
 - i 会務運営
 - ・ 上部団体等との連絡調整・文書受付及び取り次ぎ等
 - ii 団体活動
 - ・ 総会資料作成補助
 - ・ 役員・支部長会議等案内
 - ・ 万灯祭、靖国神社参拝等新型コロナウイルス感染症拡大の影響で行事参加を中止

- ウ 長泉町手をつなぐ育成会
 - i 会務運営
 - ・ 総会（書面決議）、今年度は駿東郡当番町
 - ・ 上部団体及び駿東郡各町育成会との連絡調整
 - ・ 文書受付及び取り次ぎ等
 - ii 団体活動
 - ・ 行事案内、参加取りまとめ・行事支援等今期は行事参加を中止
 - ・ 行事支援者の調整

④ 運営費助成団体一覧 (単位：円)

	団体名	助成額	備考
1	シニアクラブ長泉	450,000	事務局支援
2	長泉町遺族会	720,000	事務局支援
3	長泉町身体障害者福祉会	650,000	
4	長泉町手をつなぐ育成会	200,000	事務局支援
5	長泉町母子寡婦福祉会	270,000	
6	沼津地区更生保護女性会長泉支部	50,000	
7	ながいずみ断酒会	20,000	
8	長泉町保護司会	50,000	
合 計		2,410,000	

【事業の成果と課題】

1 社会福祉法人との連携

町内に新型コロナウイルス感染者が増えたことで福祉啓発イベントが中止となったため、人材確保に向けた取り組みとして動画による福祉の仕事の魅力の発信を社協ホームページを活用して行った。

また、参加法人共通の課題である防災をテーマに、福祉避難所の運営や発災時の法人間連携の在り方などについて防災アドバイザーから助言をいただいたので、次年度以降も体制構築に向けて活動していく。

2 メッセージ活動

つながりを絶やさない活動として令和2年度から開始した活動は、開始当時に比べ配布数が10倍となった。当初は民生委員・児童委員から地域の高齢者への配布に過ぎなかったが、今では高齢者以外にも配られ、区の公民館に掲示されるなど対象者が広がっている。

また、メッセージを発信する人も、地域の高齢者等だけでなく、町内の小中学校、知徳高校に福祉教育の関連で話をしたことでメッセージを寄せてくれる学校もあり、広がりをみせている。

**ひとり暮らし高齢者支援
「メッセージ」配布 長泉町社会福祉協議会（静岡県）**

民生委員や高齢者、小中学生からコロナ禍での応援メッセージを募集し、社協事務局で7名前後のメッセージを台紙にまとめ、民生委員から地域の方々へ毎月1回メッセージ集を届ける活動を行っている。メッセージはコロナ禍でもつながりを絶やさない活動とし、現在も継続して行っている。受け手、担い手の枠を超え、それぞれの立場から自由に想いを手紙にし、毎月誰かを勇気付けている。

はじめたきっかけ
新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から地域とつながる機会が減少した。地域から孤独や不安の声があがり、民生委員からも「コロナ禍で活動することができない、何かできることはないか」と相談があった。

つまづいた点
緊急事態宣言発令期間は民生委員の訪問が自粛となり、メッセージを配布することができない期間があった。「この時期にメッセージを配布することができない期間があった。」「この時期にメッセージを配布することができない期間があった。」「この時期にメッセージを配布することができない期間があった。」という思いと「感染させてはいけない、自粛が優先」という意見があり、丁寧に双方の意見を確認した。訪問せず電話などの対応に切り替え、つながりを絶やさない方法を工夫していた。

取組の効果
企画当初は、民生委員が把握するひとり暮らし高齢者100名を対象としていたが、民生委員が、その他気になる世帯に配布対象者を自主的に拡大したことや、自治会の公民館地域の人から「とても楽しみにしている」「家族に会えないが、気にかけてくれて嬉しい」と感想が寄せられている。また、町内の小学校、中学校、高等学校からもメッセージが届くようになり、地域まるごとの地域福祉メッセージ集となった。学校には福祉教育の観点からも協働ができ、委員会として活動している学校も出てきている。

対象	一人暮らし高齢者、高齢者世帯、母子世帯、困窮世帯等
費用	・印刷代 ・印刷用紙代(A3、月1000枚)500円程度
実施年度	令和2年度～
実施体制	民児協担当者、福祉教育担当者

社会福祉法人の生活困窮者等に対する「地域における公益的な取組」好事例集 38

厚生労働省のホームページで取り組みの好事例として紹介された。

3 シトラスリボンづくり

参加者は少なかったが、リボンづくりを通し、福祉サービス以外の誰かと話ができる場所を必要としている方がいることや、シトラスリボンの示す新型コロナウイルス罹患者を「差別しない地域づくり」が自分たち団体の活動親和性があり協力したいという団体、他の色のリボンをシンボルとして活動している団体から一緒にできることがあれば、という声があるなど発見があった。3月にゴールドリボンをシンボルマークとして小児がんの子どもたちを支える活動をしているボランティア活動者の講話を計画していたが、中止とし、代わりに福祉会館ロビーでチラシやゴールドリボンを設置し周知した。

4 緊急通報システム「福祉電話」設置事業

福祉電話の取り外し理由は、入所や死去による撤去などであった。入所等により在宅生活を継続していない利用者の情報の一報はNTTによる福祉電話の定期点検の際に情報が入っている。入所の場合、契約者本人との連絡がとれず廃止手続きにおいて課題がある。また消防に提出している本人以外の情報が不要であると報告があり、提出書類の改善に努めた。

1-3 福祉総合相談事業

1 福祉総合相談事業

(1) 福祉総合相談事業

町民の身近な相談機関として、福祉に関することをはじめ、様々な悩みや心配事などの相談に応じ、福祉ニーズとサービスを結ぶ支援体制として、民生委員・児童委員や他機関との連携を図りながら、総合的に相談業務を行った。また、相談専用電話を設置し、匿名も含め電話での相談に応じた。

- ① 開設時間 月曜日～金曜日 午前8時15分～午後5時
- ② 開設場所 福祉会館3階相談室
- ③ 相談件数 17件
- ④ 相談人数 9人（男性4人、女性5人）
- ⑤ 相談方法 17件（来所6件、電話11件、訪問0件）

相談内容・処理状況					
区分	解決	再来	民生委員	機関紹介	計
生計		2	2	1	5
人権・法律	6	4			10
その他		1		1	2
合計	6	7	2	2	17

(2) 生活困窮者の社会参加支援

月1回、失業者および低所得者の社会参加支援として、生活福祉資金、小口資金償還中の者、償還したが就労できていない者、生活困窮者自立相談支援事業利用者等を対象に、社協だより発送作業と茶話会を実施していたが、新型コロナウイルス感染症対策の為、昨年に続き今年度も実施を見送っている。

既存の参加者については、訪問や電話連絡を行い世帯状況の把握に努めている。

2 日常生活自立支援事業

本事業は、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等のうち、判断能力が不十分な人が地域において自立した生活を送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行うものである。

平成24年度から、相談受付や利用契約の締結と利用者支援を行っている。

- (1) 職員配置：専門員3人(兼務)、生活支援員5人※令和4年3月末現在

(2) 利用者数

区 分	令和3年度			
	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	その他
継 続	2	2	2	3
新 規	1	0	1	0
解 約	0	1	1	1
小 計	3	3	4	4
令和4年3月末利用者数	9人			
増減内訳	新規契約1 解約3			

※解約理由 本人からの申出：1件 成年後見制度移行：2件

(3) 相談援助件数（カッコ内数字は生活保護受給者対応数）（単位：件）

内容 対象者 事項	本事業の利用に関するもの				その他	合計
	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	そ の 他		
問合せ件数	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
初回相談件数	0(0)	0(0)	0(0)	2(1)		2(1)
相談援助件数	101(0)	73(17)	311(95)	223(0)		708(112)
合 計	101(0)	73(17)	311(95)	225(1)	0(0)	710(113)

3 生活困窮者自立支援法に基づく事業

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

平成27年度から静岡県の委託を受け、生活困窮者自立相談支援事業を実施した。

- ① 相談件数 1,545件
- ② 相談実人数 191人（男性111人、女性80人）
うち、本人未特定 0人
以前からの継続者 111人（男性69人、女性42人）
今年度新規相談者 80人（男性42人、女性38人）
- ③ プラン確認実人数（再プランを含む件数） 71人（105件）
プラン評価し支援終了者 54人
- ④ 住居確保給付金申請実人数 11人

⑤ 支援状況 (単位：件)

相談処理状況	計
電話相談・連絡	795
訪問・同行支援	75
面談	196
所内会議	6
支援調整会議（プラン策定）	105
支援調整会議（評価実施）	94
その他他機関との会議	13
他機関との電話照会・協議	94
その他	167
合計	1,545

⑥ 支援実績 (単位：人)

今年度新規就労	7
一般就労	7
その他就労系福祉サービス含む	0
他制度、他機関紹介、情報提供等で支援終了（初回評価）	78(50)
〃（2回目以降評価）	0(0)
プラン評価し終結	54(27)
中断・終了（連絡がとれない等）	14(4)
継続支援	45(30)
合計	191(111)

※（ ）内数字は一昨年度、昨年度からの継続者

※継続支援とは、求職者が就労した後も住居確保給付金受給や相談援助を行っている、就労以外の生活に困窮した課題があり相談援助をしている者等を示す。

⑦ 支援調整会議：全8回開催

今年度は年間8回の開催となった。

今年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により困窮状態に陥っているケース、特例貸付などの制度を使い果たしても困窮状態を脱することができないケースも多く、他機関との情報交換や連携の場として有効な機会となっている。

(2) 家計改善支援事業

本事業は令和2年度より静岡県社会福祉協議会にて実施することになり、連携して支援を実施している。

① 支援実績 今年度新規受付77件、昨年度からの継続件数は35件

(3) 一時生活支援事業

令和元年度から静岡県の委託を受けて実施している。

① 支援実績 0件

(4) 住居確保給付金

新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少し、生活に困窮する方で住居を失うおそれがある方を対象とした制度利用の支援を実施した。

① 支援実績 13件

	相談件数	面談件数	申請数	貸付との併用	相談者平均年齢	世帯状況	
						単身	複数
R3年度計	20	20	13	15	47.5	9	11
R2年度計	69	62	60	57	47.5	24	45
増減	△ 49	△ 42	△ 47	△ 42		△ 15	△ 34

(5) ふじのくに型学びの心育成支援事業（学習支援事業）

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、従来は町内の社会福祉法人が運営する施設2カ所で実施している学習支援の場所が確保出来なかったため、やむを得ず福祉会館での実施となった。

それにより、今まで以上に学習支援の対象者や運営しているNPO法人の職員と顔の見える関係を築くことができ、世帯状況の確認や各種情報提供、食糧支援を行うことができた。

(6) その他

① 「フードバンクふじのくに」のフードドライブへの協力

- ・夏季フードドライブ（8月1日～8月31日）寄贈食品重量：47キロ
- ・冬季フードドライブ（1月4日～1月31日）寄贈食品重量：46キロ

② フードバンク活用実績 1件

4 生活福祉資金貸付事業

静岡県社会福祉協議会が実施主体となり、低所得世帯に対する生活福祉資金の貸付の窓口として、長泉町における相談受付、償還事務を行った。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたことによる収入減少、失業者を対象とした特例貸付2種（緊急小口資金、総合支援資金）の貸付の相談がほとんどを占めた。

(1) 貸付実績

生活福祉資金（緊急小口資金）特例貸付相談実績：43件

	相談 件数	面談 件数	申請数	貸付申 請総額 (万円)	内 訳 (件数)		相談者 平均 年齢	世帯状況	
					10万	20万		単身	複数
R3年度計	49	37	43	830	3	40	42.1	17	32
R2年度計	129	106	90	1,490	31	59	48.1	49	80
増減	△ 80	△ 69	△ 47	△ 660	△ 28	△ 19		△ 32	△ 48

総合支援資金特例貸付相談実績：92件

	相談 件数	面談 件数	申請数	貸付申 請総額 (万円)	特例貸 付との 併用	相談者 平均 年齢	世帯状況		
							単身	複数	未確認
R3年度計	101	89	92	4,815	87	44.6	24	75	2
R2年度計	69	62	60	3,265	57	47.5	24	45	0
増減	32	27	32	1,550	30		0	30	2

特例貸付以外の貸付相談実績：3件

貸付資金種類	申請件数	貸付金額 (円)
緊急小口資金	3	300,000

※令和2年度申請実績：0件

【事業の成果と課題】

1 総合的な相談対応

今年度も初回相談時から生活福祉資金の貸付や生活困窮者自立支援事業に類する相談が多く、総合相談としての対応件数は減少している。

しかしながら、成年後見制度利用に関する相談が増加していることは今年度の特徴である。

2 日常生活自立支援事業

事業の内容として金銭管理のイメージが関係機関に浸透し問い合わせも多いが、相談を進めるなかで事業の性質と対象者像が合致していないこともあり、事業について正しい周知を続けることが課題である。

また昨年度から日常生活自立支援事業から成年後見制度に移行するケースも出てきており、関係機関とケース会議を重ねながら適切な制度利用に繋がるよう支援を行った。

3 生活困窮者自立支援事業

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により困窮状態に陥った方の相談が継続している。家計改善支援相談に繋ぎ困窮状態に陥った要因

を可視化することで、収支バランスの改善等を図るきっかけづくりに努めている。

4 生活福祉資金貸付事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたことによる収入減少、失業者を対象とした特例貸付2種（緊急小口資金、総合支援資金）の申請期間の延長の継続、緊急事態宣言、蔓延防止重点措置の長期化もあり、相談が多く貸付の申請に終始した年度であった。

1-4 共同募金助成金事業

1 一般募金助成金事業

昨年度寄せられた共同募金及び歳末たすけあい募金の助成金により、福祉育成援助活動費として15事業、老人福祉活動費として3事業を実施した。

助成金総額として6,068,229円を受け入れたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により計画通りに事業実施できなかったため、当年度不用額1,475,296円を精算し、令和4年度の共同募金助成金事業費に活用できている。

項 目		期 日	内 容	助成額
1 福祉育成援助活動費				4,023,915円
1	福祉教育実践校事業	通年事業	指定校助成金	540,000円
2	福祉の仕事魅力発信事業(長泉町福祉啓発夏休みイベント「福祉の世界を知ろう」含む)	通年事業 8月6日(金) 夏休みイベントは新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	事業費	577,090円
3	生活困窮者等食糧支援パック	通年事業	事業費	70,000円
4	小地域福祉活動推進事業	通年事業	活動助成金等	574,730円
5	福祉健康まつり開催事業	12月	事業費	1,280,495円
6	新入学児童入学祝贈呈事業(黄色い帽子)	—	黄色い帽子購入	203,639円
7	募金箱POP作成事業	10月～12月	事業費	65,602円
8	ラッピングカー(マグネットシート作成)事業	11月～12月	事業費	32,330円
9	ひとり親世帯入学祝い金贈呈事業	3月	事業費	182,960円
10	共同募金啓発活動事業(ホームページ)	10月	事業費	5,000円
11	広報発行事業(共同募金ありがとう特集号)	3月	事業費	78,023円
12	災害ボランティア活動者支援事業	12月	参加費助成	4,203円
13	災害対策体制整備事業	通年事業	事業費	202,120円

	14	福祉教育用地域災害ボランティア作成本制作	通年事業	事業費	107,723円
	15	住民主体のボランティア活動担い手養成講座	9月～12月	事業費	100,000円
2 老人福祉活動費					569,018円
	1	ひとり暮らし高齢者等支援（シトラスリボンプロジェクト・メッセージ配布）	通年事業	事業費	62,028円
	2	シニアクラブスポーツ大会	12月3日（金） フライングディスク大会として実施	事業費	133,100円
	3	緊急通報システム「福祉電話」設置事業	通年事業	事業費	373,890円

(2) 費用按分事業内訳

項 目		サービス区分1 （共募助成金）	サービス区分2 （地域福祉活動）	総事業費 （1+2）
1	福祉教育実践校事業	540,000円	60,000円	600,000円
2	福祉の仕事魅力発信事業	577,090円	43,540円	620,630円
3	小地域福祉活動推進事業	574,730円	370,000円	944,730円
4	新入学児童入学祝贈呈事業（黄色い帽子）	203,639円	137,355円	340,994円
5	共同募金啓発活動事業（ホームページ）	5,000円	1,600円	6,600円
6	広報発行事業（共同募金ありがとう特集号）	78,023円	275,231円	353,254円
7	ひとり暮らし高齢者支援（メッセージ配布・シトラスリボン）	62,028円	5,623円	67,651円

2 歳末たすけあい募金助成事業

「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに民生委員の協力を得て見舞金を贈呈した。

対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年9月1日に長泉町に住民票を有し、世帯全員の住民税が非課税世帯もしくは準要保護世帯 ・地域で暮らす誰もが安心して年末の時期を過ごすことができるように、町内で身近な福祉課題に取り組んでいる団体に対し、必要な事業経費の一部を配分（手をつなぐ育成会の年末行事へ配分）
-----	---

【対象者分類別一覧】 (単位：円)

対象者	助成金支出	事務費支出	対象者別合計額
高齢者	170,000	0	170,000
障害児・者	105,000	0	105,000
児童・青少年	883,000	0	883,000
課題を抱える人	361,000	37,687	398,687
合計	1,519,000	37,687	1,556,687

【対象者件数別一覧】 (単位：件)

対象者	在宅	施設	団体	合計
高齢者	34	0	0	34
障害児・者	21	0	1	22
児童・青少年	61	0	0	61
課題を抱える人	33	0	0	33
合計	149	0	1	150

【事業の成果と課題】

令和2年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で、ひとり親家庭親子交流事業「日帰り旅行」は昨年度同様開催できなかった。代替として、災害対策体制整備事業を実施した。

また、今年度新たに地域福祉教育の視点から、福祉教育実践校事業対象の学校に、赤い羽根共同募金の講話と併せ募金箱ポップづくりや公用車に貼る共同募金啓発マグネットシート作成を提案したところ、コロナ禍においてボランティア活動に携わる機会が減少しているため、新たな活動として喜ばれた。

歳末たすけあい募金助成事業については、過去2年にわたり申請要件や周知方法の、見舞金の贈呈額について見直しを実施した。今年度は、贈呈世帯の要件確認方法の変更を行い、必要な方に必要な支援が届くように努めた。

1-5 手話通訳者派遣事業（長泉町受託事業）

1 事業目的

聴覚障がい者及び音声又は言語機能障がい者、並びに聴覚障がい者等と意思の疎通を図る必要のある者が手話通訳を必要とする場合に手話通訳者を派遣し、意思伝達の手段を確保することにより、聴覚障がい者等の福祉の増進及び社会参加の促進に資することを目的とする。

2 事業内容

(1) 運営状況

- ・登録手話通訳者 4名（町3名、広域登録1名）
- ・手話通訳等報酬 1時間 3,180円 交通費 1kmあたり 40円支給

(2) 手話通訳者派遣事業実績

月	件数	通 訳 者 派 遣 数							項 目 別 件 数									
		時間帯		登録者数		派遣場所		派遣 手話登録者 時間合計	生命 健康	官 公 署	職 業	教 育	教 養 自 己	住 居	地 域 生 活	団 体 活 動	そ の 他	
		昼	夜	町内	町外	町内	町外											
		件数	件数	人数	人数	件数	件数											時間
4月	17	16	1	9	14	8	9	43:37	5	0	0	1	0	0	3	5	3	
5月	9	9	0	4	8	5	4	19:15	5	0	0	0	0	0	0	3	1	
6月	21	21	0	9	17	14	7	37:50	14	0	0	1	0	0	0	4	2	
7月	19	17	2	9	15	10	9	47:25	10	0	0	0	0	1	0	4	4	
8月	11	11	0	7	5	4	7	20:10	7	0	0	0	0	0	0	1	3	
9月	12	12	0	8	4	4	8	19:25	9	0	0	0	0	0	0	0	3	
10月	14	14	0	5	13	6	8	31:35	7	0	0	1	0	0	0	3	3	
11月	20	19	1	10	19	11	9	52:50	9	0	0	1	0	0	0	5	5	
12月	16	13	3	6	13	10	6	41:40	9	0	0	0	0	0	0	6	1	
1月	18	16	2	15	7	8	10	39:30	10	0	0	0	0	0	0	4	4	
2月	17	17	0	6	12	9	8	24:05	12	0	0	0	0	0	0	4	1	
3月	21	21	0	10	18	13	8	58:10	12	0	0	1	0	0	0	8	0	
R3 合計	195	186	9	98	145	102	93	435:32	109	0	0	5	0	1	3	47	30	
R2 合計	150	144	6	105	78	67	83	312:35	67	0	11	3	0	1	23	26	19	

(3) 手話奉仕員養成講座

聴覚障がい者の生活及び関連する福祉制度について理解と認識を深め、手話で日常会話を行うのに必要な手話技術や手話表現技術の習得を図った。

i 日 程 5月26日～令和4年3月16日 水曜 19:00～

全18講座・3講義（他に補講を10月6日、3月19日に実施）

ii 会 場 長泉町福祉会館

iii 対象者 長泉町在住、在勤の高校生以上の方

iv 修了者 8名（出席率80%以上で修了証交付）※申込みは10名

なお、修了できなかった者のうち1名は令和4年度実施の「基礎編」受講中に「入門編」の講義1を受講することで「入門編」修了とする。

※手話通訳者になるためには、奉仕員養成講座「入門編」「基礎編」、通訳者養成講座3年を修了後、試験を受け、最低でも4年が必要となる。



手話奉仕員養成講座

(4) 新型コロナウイルス感染症対策

令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染防止のため、手話奉仕員養成講座は行わなかった。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点等から、「入門編」のみ実施をした。

今年度実施するにあたり、受講生および講師全員に口元が透明になっているマスクを配布し、また換気や手指消毒、検温実施等により、感染予防を図った。

なお、新型コロナウイルス感染まん延等防止措置と緊急事態宣言により、第9講座以降の講座を延期したため、本来は11月までの講座を3月まで開催した。

【事業の成果と課題】

町内在住の登録手話通訳者が昨年度末で1名引退し、手話奉仕員養成講座の講師ができる町内在住登録手話通訳者が1名となった。

講師確保が必要だが、町内在住登録手話通訳者は勤労者であり、講師養成研修会の開催場所が遠方（令和3年度は広島県）のため、受講が困難である。

手話奉仕員養成講座「入門編」講師には、補講3回の対応、講座休講中の自主勉強のためのアイデア提供などの協力をいただいた。

1-6 小口資金貸付事業

1 事業目的

長泉町に居住し、かつ住所登録のある低所得者で、緊急又は不時の出費を要する者に対し、生活の自立と福祉の増進を図るため、民生委員と連携して生活指導及び小口資金の貸付けを行う。

2 貸付状況

申 込 状 況		決 定 状 況		申込に対する決定率	
件数	金 額	件数	金 額	件数(%)	金 額 (%)
3 件	70,000 円	3 件	70,000 円	100	100

3 償還状況

項目	貸 付 金 額		償 還 金 額		不納欠損額		貸付残高 ①-②-③
	件数	金 額①	件数	金 額②	件数	金 額③	金 額
当年度分	3 件	70,000 円	2 件	40,000 円	0 件	0 円	30,000 円
過年度分残高	7 件	123,000 円	4 件	50,000 円	0 件	0 円	73,000 円
合計	10 件	193,000 円	6 件	90,000 円	0 件	0 円	103,000 円

・ 償還終了件数：6 件

・ 償 還 残 件 数：4 件（当年度貸付分：1 件 過年度貸付分：3 件）

【事業の成果と課題】

生活保護費支給までのつなぎや急な冠婚葬祭の出費による家計の圧迫などで貸付の相談はあったが、今年度は貸付実施までには至っていない。代替として、一時的な食糧支援や他の制度利用で対応している。今後も、貸付事業単独ではなく、町福祉保険課や生活困窮者自立支援事業と連携し無理なく生活の立直しにつながるよう対応していく。

過年度貸付世帯で4世帯が償還を終了させた。3件については償還が計画通りにできていないため、行政や民生委員と連携して負担のない償還を促すことに努める。

1-7 生活支援体制整備事業（長泉町受託事業）

1 事業目的

日常生活上の支援が必要な高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために、必要となる多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の充実・強化を図ることを目的とする。

2 業務内容

- (1) 生活支援コーディネーター1名配置
- (2) 生活支援・介護予防サービスのコーディネート等に関する業務
 - ① 社会資源の把握
 - ② ネットワークの構築
 - ③ ニーズと取組みのマッチング

3 社会資源の把握や創出

住民主体のサービスの創出を目指し、第2層協議体に参加し、第2層SCと連携しながら第1層協議体との情報共有を図り、第2層協議体への後方支援を行った。

(1) 第1層協議体の開催

協議体構成員 所属団体	8名（任期満了により交代1名） 民生委員・児童委員協議会、区長連絡協議会、シニアクラブ長泉、シルバー人材センター、福祉サービス提供者、長寿介護課、第1層SC
協議体開催	【第1日】5月26日（水）13：30～15：30 場所：長泉町役場会議室 内容：有償ボランティア事業の進捗状況の共有や住民主体のフレイル予防の活動など第2層協議体の活動について意見交換を行った。
	【第2日】9月24日（金）13：30～15：30 場所：緊急事態宣言発令期間によりオンライン会議 助言：一般財団法人さわやか福祉財団職員 内容：第2層協議体活動の進捗について共有した。ながいずみ支えあいの会が開始する「チームつながり」有償ボランティア事業の担い手の創出に向け開催中の担い手養成講座開催内容の説明や、今後の予定について報告した。
	【第3日】12月24日（金）13：30～15：30

	場所：長泉町役場別館防災センター1階多目的室 内容：町企画財政課で実施するタクシーの助成金事業及びボランティア活動（外出支援）の方向性について共有した。また、チラシの活用方法及びチームつながり事業について今後の展開について協議を行った。
	【第4日】3月29日（火）13：30～15：30 場所：長泉町役場別館防災センター1階多目的室 内容：各協議体の進捗状況の報告と、現在の取り組み活動の課題に対する協議や令和4年度の計画について共有した。ボランティアが安心して活動を行えるよう、関係機関への活動の周知とボランティア活動保険について協議を行った。

(2) 第2層協議体への出席

①北小学校区（やまびこ）

協議体参加数	6回(全体会、役員会、広報チーム)
協議体開催場所	モク・オハナ2階地域交流室
第2層後方支援	情報発信チラシの作成(若年層の参画)

②長泉小学校区（ながいずみ支えあいの会）

協議体開催数	32回(全体会、役員会、広報チーム等)
協議体開催場所	防災センター1階、福祉会館、駅上公民館
第2層後方支援	有償ボランティア(チームつながり)活動支援

③南小学校区（AYUMU）

協議体開催数	12回(全体会、役員会等)
協議体開催場所	さつき園1階地域交流センター、(株)丸勇建設
第2層後方支援	他第2層協議体との意見交換、有償ボランティア(チームつながり)活動準備支援



第2層協議体 やまびこ、ながいずみ支えあいの会、AYUMU

4 ネットワークの構築、地域へのアウトリーチ

さまざまな団体とのネットワークの構築を目的に、事業における進捗状況を説明した。協議体へ各団体の取り組みを紹介することで、住民主体の助け合いへの協力体制を図れるよう情報の共有を行った。

(1) 生活支援コーディネーター連絡会

構成員	8名（第2層SC、第2層協議体会長、第1層SC、町）
開催数	定例会：10回 ※7月は、各協議体ごとに実施 臨時会：3回
場 所	役場北館2階会議室 他
内 容	【定 例】第1層協議会の協議内容の共有、各第2層協議会の進捗状況の共有、今後の方向性の協議等 【臨時会】有償ボランティアの全域展開するための協議

(2) 多様な関係主体間との情報共有や意見交換

- ・民生委員・児童委員協議会役員会、定例会議（全3回）
- ・区長連絡協議会役員会、全体会（全2回）
- ・民生委員・児童委員協議会高齢者福祉部会スキルアップ研修（全1回）
- ・企画財政課、福祉保険課、長寿介護課、公共交通の情報共有（全1回）
- ・傾聴ボランティアふらっと（全1回）
- ・長泉町地域公共交通協議会（全2回）
- ・介護支援専門員長小圏域わくわくケア～の会（全1回）
- ・認知症地域支援推進員（全2回）
- ・知徳高等学校福祉科1年生（全1回）
- ・県長寿政策課（全2回）
- ・長泉町介護支援専門員連絡協議会（全1回）

(3) 生活支援体制整備事業新聞発行（発行No.12、発行No.13、発行No.14）

各協議体の進捗状況の共有と活動の見える化、情報発信、地域づくりの意識醸成を目的に、生活支援体制整備事業新聞を発行した。

(4) アンケート調査の実施

目 的	有償ボランティアの活動の充実を図るため、介護事業所等に対して、アンケート調査を行い、介護保険制度では行えないニーズ（必要と感じるサービス）を把握するために実施した。
対 象	居宅介護支援事業所及び訪問介護事業所（32事業所）
回収率	96.9%

5 ニーズと取組みのマッチング

(1) 新型コロナウイルスワクチンインターネット予約支援

ワクチンのインターネット予約が困難である高齢者を対象に、住民ボランティアによる予約の支援を行った。支援チラシは町が発行するワクチン予約票とともに対象者へ送付された。

① 実施準備及び打合せ

期間：5月11日（火）～5月21日（金）

内容：第1層協議体構成員へネット予約困難者情報の確認
住民ボランティアの募集と役割分担調整

② ネット予約の支援実績

日時：5月24日（月）8：30～15：30

5月25日（火）8：30～12：00

実績：住民ボランティア2日間合計46名

町内4会場予約来場者数合計231名



コミュニティながいずみ、駅中プラットホーム等で実施したネット予約支援

(2) オンライン担い手養成講座等の開催

地域のボランティア活動における基礎と実践方法を学び、地域の助け合い活動に向け、高齢者の日常生活を支える担い手を育成した。この講座は、緊急事態宣言発令期間のため対象者を限定し開催した。

第1回 参加者：協議体構成員、講師、SC、長寿介護課等18名

【第1日目】9月15日（水）13：30～15：30

内容：生活支援体制整備事業の概要

説明：長泉町第1層生活支援コーディネーター

内容：認知症について

講師：(有)ハーベストライフ 代表取締役 宮本光也氏

【第2日目】9月22日（水）13：30～15：30

内容：生活支援について

講師：(株)アイケア 森 若菜氏

【第3日目】9月29日（水）13：30～15：30

内容：高齢者の外出支援について

講師：認定NPO法人全国移動サービスネットワーク

副理事長 河崎 民子氏

内容：実践事例報告

講師：ご近所福祉ネットワーク in 中(西伊豆町)

第2回 参加者：協議体構成員、講師、SC、長寿介護課等27名

【第1日目】12月1日（水）13：30～15：30

内容：生活支援体制整備事業の概要

説明：長泉町第1層生活支援コーディネーター

内容：認知症について

講師：(有)ハーベストライフ 代表取締役 宮本光也氏

【第2日目】12月8日（水）13：30～15：30

内容：高齢者の外出支援について

講師：認定NPO法人全国移動サービスネットワーク副理事長

河崎 民子氏

【第3日目】12月15日(水)13:30~15:30

内容:「支え合い」って何だろう? コロナ禍で考える「暮らしぶり」
講師:ご近所福祉クリエイター 酒井 保氏

(3) 協議体構成員勉強会

地域の課題解決に向けた活動の一助となるよう、協議体構成員を対象に一般財団法人さわやか福祉財団が主催「いきがい・助け合いサミット in 神奈川(Web)」の研修の情報提供を行った。

対象者:第1層及び第2層協議体構成員、SC、長寿介護課等53名

【第1日目】9月1日(水)10:00~17:50

全体シンポジウム

「幸せな人生と社会に不可欠ないきがいと助け合い」

分科会7第1パネル

「地縁の助け合い活動を活性化するには？」

【第2日目】9月2日(木)9:00~16:30

分科会17第2パネル

「子どもと高齢者の交流や助け合いをどう広げるか」

分科会29第3パネル

「住民から信頼される体制をどうつくるか」

(4) マッチングコーディネーター勉強会

有償ボランティア(チームつながり)事業が実施されるにあたり、住民のニーズと担い手をつなぐマッチングコーディネーターの役割が重要となるため、円滑な住民活動が実施できるよう開催した。

対象者:マッチングコーディネーターを担う協議体構成員等17名

11月23日(火)10:00~12:00

内容:マッチングの基礎や役割について

講師:特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会
疋田恵子氏

6 その他

(1) 取材対応

公益財団法人さわやか福祉財団機関紙「さあ、言おう」(令和4年4月号)に掲載

(2) 住民主体の助け合い活動の取組活動報告会

公益財団法人さわやか福祉財団静岡インストラクター主催の活動報告会において、本町の取り組みについて活動の事例を発表

(3) 移動支援サービス連絡会

静岡県内で移動支援に係る連絡会を立ち上げるための委員会に参加

(4) マイスターバッチ及び活動ビブスの作成

円滑な活動の推進及び活動に対する恩恵と機運を高めることを目的に
作成

【事業の成果と課題】

令和元年度に北小学校区、長泉小学校区、南小学校区の3校区に第2層協議体が立ち上がり、協議体の在り方や取組み内容などについて各第2層協議体で協議されてきた。

そうした中、長泉小学校区第2層協議体（ながいずみ支え合いの会）では、地域のニーズに対して住民同士の助け合い活動「有償ボランティア」事業が立ち上がり、ゴミ出しや話相手などの活動が始まった。（実績：6件、延べ24回支援）

北小学校区及び南小学校区の第2層協議体においても「有償ボランティア」事業を展開するための準備が進められている。

一方、「有償ボランティア」事業が始動したことによる具体的なニーズ対応や事業の運営方法等の課題に対して、研修会や協議を重ねる事で事業を円滑に実施できるよう支援を行う。

1-8 認知症初期集中支援チーム事業（長泉町受託事業）

1 事業目的

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で生活することができるよう、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を設置し、認知症の早期診断・早期対策に向けた支援体制を構築することを目的とする。

2 事業内容

(1) 支援時間 月曜日～金曜日 午前8時15分～午後5時15分

(2) 支援人員 チーム員 長泉町社会福祉協議会内
福祉職1名（事務局・介護福祉士）
医療職1名（いずみの郷・看護師）
地域包括支援センター職員1名（長寿介護課）
チーム医 花メディカルクリニック医師

(3) 支援内容

② 実働件数 5件（終結5件、継続0件）

② 新規件数 2件（北包括0件、直営包括2件、南包括0件）

(4) 実働実績

認知症初期集中支援の実施（6ヶ月を目途に終結）

月	訪問回数 (人回)	チーム員会議	ケース支援	終結
4月	10	1回	No.12、No.13、No.14	
5月	5	1回	No.12、No.13、No.14	
6月	9	1回	No.12、No.13、No.14	
7月	2	0回	No.14	
8月	0	1回	No.12、No.13、No.14	No.12、No.13、No.14
9月	4	1回	No.15	
10月	2	0回	No.15	
11月	4	0回	No.15	
12月	2	1回	No.15	
1月	5	0回	No.15、No.16	
2月	1	1回	No.16	No.15
3月	2	1回	No.16	No.16
合計	46	8回		

3 会議及び研修

(1) 第5回 長泉町 MCI 包括支援プロジェクト

- ・日 時 令和3年11月29日(月) 10:00~12:00
- ・出席者 学識経験者1名、3包括支援センター、長泉町社会福祉協議会副主幹1名、チーム員1名、
- ・開催場所 長泉町別館防災センター1階多目的室
- ・内 容 認知症初期集中支援チーム活動内容と協議

(2) 令和3年度認知症初期集中支援チーム現任者研修会(WEB)

- ・日 時 令和4年2月14日(月) 13:30~16:30
- ・出席者 県内認知症初期集中支援チーム チーム員
- ・開催場所 福社会館3階相談室
- ・内 容 行政説明、認知症初期集中支援チーム2市町活動報告
グループワーク

【事業の成果と課題】

終結したケースで直営包括支援センターのチーム担当職員との密な情報共有や同行訪問等の連携により対象者が早期に医療につながる支援を行った。それに伴い介護保険の申請等の福祉サービスへの支援にも早期に結びつくことができた。来年度からは長泉町社会福祉協議会での委託契約は終了し、直営包括支援センターが継続して事業を行う。

1-9 権利擁護推進事業

1 事業目的

この事業は、成年後見制度を安定して利用できるよう、今後需要の増加が見込まれる市民後見人を育成し、制度の普及啓発を行うことで成年後見制度の充実を図ることを目的とする。

また、本会が法人後見の実施機関として体制を構築し、判断能力が衰えても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で生活することができるよう、成年後見制度の利用等により権利擁護支援を行うことを目的とする。

2 事業概要

(1) 市民後見推進事業（長泉町受託事業）

沼津市、裾野市、清水町、長泉町の2市2町の枠組みにより、広報啓発事業、市民後見人養成研修、市民後見人名簿登録者に対するフォローアップ講習等を行う。

(2) 法人後見事業

本会の単独事業として静岡家庭裁判所の審判を得て受任する。

3 事業内容

(1) 市民後見推進事業

- ① 今年度は市民後見人養成講座の開催はなし。
- ② フォローアップ研修を兼ねて市民後見人名簿登録者（4名）を対象に、5月から毎月1回連絡会を開催している。

(2) 法人後見事業

令和2年度2件、今年度1件受任している。

総数では現在3件受任している（後見：2件、保佐：1件）。

【受任件数】

	後見	保佐	補助	年度合計
R3年度計	1	0	0	1
R2年度計	1	1	0	2
合計	2	1	0	3

【事業の成果と課題】

今年度は市民後見人名簿登録者1名が、日常生活自立支援事業生活支援員としての活動を経て法人後見支援員としての活動を開始した。昨年度の市民後見人名簿登録者は日常生活自立支援事業生活支援員として順調に支援の経験を積み重ねている。今後も継続的にフォローアップ研修を行い、市民後見人として選任されるよう担い手の育成に力を入れていきたい。

2 老人福祉センター

2-1 福祉会館事業（町指定管理事業）

1 事業目的

福祉会館は、老人福祉センター、地域福祉センターの機能を持った複合施設として、住民の健康と福祉の増進並びに住民相互の交流を図るため、健康相談事業、機能回復訓練、文化教養の向上の場として活用され、健康で助けあう生きがいのある町づくりの拠点となるべく隣接する在宅福祉総合センターと連携し、良質な福祉サービスを提供する。

2 管理業務の状況

(1) 清掃・環境衛生業務（令和2年度～令和4年度の長期継続契約）

- ① 日常清掃（毎日、火曜日・年末年始を除く※ただし、月曜祝日等で営業した翌日は実施）
- ② 定期清掃 床清掃（年6回） 浴室天井壁面清掃（年4回）
- ③ 窓ガラス清掃、屋上ドレン口ゴミ取り（年4回）
- ④ 衛生管理 害虫防除（年2回）空気環境測定（年4回）
- ⑤ 濾過系統配管消毒業務（週1回）

レジオネラ菌防止対策のため配管の高濃度塩素消毒

- (2) 管理員派遣業務（毎日） シルバー人材センターからの管理員派遣
- (3) エレベータ点検（月1回） エレベータ機器の保守点検（法定点検含）
- (4) 夜間警備業務（毎日） 夜間閉館時の機械警備業務
- (5) 浴槽設備点検（年2回）、 各浴槽設備、ろ過機等点検、24時間対応貯湯槽清掃消毒業務（年1回） レジオネラ菌防止対策の清掃消毒
- (6) 給水設備点検 給水設備（貯水槽、給水ポンプ）の保守点検（隔月1回）、飲料水・給湯水検査（年2回）・貯水槽清掃滅菌作業（年1回）
- (7) 浴槽水水質検査 レジオネラ属菌検査 気泡風呂（2ヶ月／奇数月）一般項目検査（年2回）

※夜間営業延長期間（7月～12月）は毎月検査し、浴槽の安全性を確認した。

- (8) 電気保安業務（隔月1回） 機械室内変圧器等、変電・発電設備点検
- (9) トイレ消臭機器保守（隔月1回）大広間前トイレ消臭機器保守管理
- (10) ボイラー設備点検（年4回） 昇温・給湯ボイラー機器の保守点検
- (11) 消防設備点検（年2回） 自動火災報知設備・屋内消火栓・誘導灯及び誘導標識・非常放送設備・消火器の点検
- (12) 自動ドア点検（年2回） 機器の保守点検
- (13) 特殊建築物・建設設備定期報告（年1回） 建築基準法第12条第3項に基づく定期報告書作成業務
- (14) 地下タンク漏貯蔵所漏洩検査（年1回） 重油用地下タンクの微加圧検査

3 施設利用状況

(1) 長泉町福祉会館利用状況

(単位:人)

月	開館 日数	会議室			浴室・大広間								合計 (1) + (2)	一日 平均	健康 相談	
		有料	無料	小計 (1)	有料				無料							小計(2)
					大人 一般	高齢者 障害者	短時間	小人	シニア クラブ	大人	その他					
4月	26	288	774	1,062	10	487	1,151	19	43	0	0	1,710	2,772	107	303	
5月	27	266	706	972	21	457	1,183	23	28	0	0	1,712	2,684	99	362	
6月	26	287	942	1,229	22	423	1,062	13	23	0	0	1,543	2,772	107	333	
7月	27	186	848	1,034	20	553	1,527	31	40	0	0	2,171	3,205	119	295	
8月	18	366	211	577	3	388	650	31	18	0	0	1,090	1,667	93	144	
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10月	27	226	859	1,085	16	566	1,042	34	20	0	0	1,678	2,763	102	243	
11月	25	246	895	1,141	24	649	1,402	36	38	0	0	2,149	3,290	132	276	
12月	23	216	895	1,111	66	608	1,404	28	41	0	0	2,147	3,258	142	187	
1月	18	158	437	595	41	401	927	17	17	0	0	1,403	1,998	111	160	
2月	0	117	85	202	0	0	0	0	0	0	0	0	202	0	0	
3月	28	132	587	719	25	447	603	17	37	0	0	1,129	1,848	66	227	
合計	245	2,488	7,239	9,727	248	4,979	10,951	249	305	0	0	16,732	26,459	108	2,530	
R2年度	262	2,079	7,284	9,363	65	4,389	13,731	204	198	0	0	18,587	27,950	107	2,222	
増減	△ 17	409	△ 45	364	183	590	△ 2,780	45	107	0	0	△ 1,855	△ 1,491	1	308	

【新型コロナウイルス感染症まん延防止対策の経緯】

町公共施設として新型コロナウイルス感染症対策について、町と協議し、感染状況レベルに応じて利用を制限しながら営業した。

※ 8月10日から浴室・大広間利用者の居住者制限、会議室等施設利用制限

8月21日から9月30日までの間、緊急事態宣言による臨時休館

10月1日から10月14日まで浴室・大広間の居住者制限による営業再開

10月15日から居住者制限解除

※ 1月24日から2月28日までの間、まん延防止等重点措置適用による浴室・大広間の臨時休業、会議室等施設利用制限

3月1日から3月21日まで浴室・大広間利用者の居住者制限による営業再開

3月22日から居住者制限解除

短時間利用者 の推移	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
	7,777	16,997	21,926	26,327	29,130	30,234	34,693	29,265	13,731	10,951

9月、2月の施設制限により短時間利用者は減少しているが、短時間利用料と町内高齢者の一日利用料が同額であるため町内高齢者の利用者が増加している。

(2) 会議室等利用状況

(単位:件数)

月	会議室等利用件数											
	有料				無料				合計			
	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計
4月	6	10	12	28	15	19	32	66	21	29	44	94
5月	6	20	9	35	26	26	19	71	32	46	28	106
6月	6	20	13	39	31	24	22	77	37	44	35	116
7月	7	11	8	26	30	21	16	67	37	32	24	93
8月	6	8	4	18	8	13	7	28	14	21	11	46
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	9	11	7	27	29	35	17	81	38	46	24	108
11月	9	15	10	34	32	22	17	71	41	37	27	105
12月	8	10	6	24	23	22	21	66	31	32	27	90
1月	9	10	6	25	19	15	8	42	28	25	14	67
2月	3	6	0	9	6	7	0	13	9	13	0	22
3月	5	2	3	10	26	16	16	58	31	18	19	68
合計	74	123	78	275	245	220	175	640	319	343	253	915
R2年度	40	76	113	229	169	213	214	596	209	289	327	825
増減	34	47	△ 35	46	76	7	△ 39	44	110	54	△ 74	90

(単位:人)

月	会議室等利用人数											
	有料				無料				合計			
	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計
4月	65	169	54	288	219	220	335	774	284	389	389	1,062
5月	55	156	55	266	299	248	159	706	354	404	214	972
6月	66	164	57	287	380	300	262	942	446	464	319	1,229
7月	55	98	33	186	453	219	176	848	508	317	209	1,034
8月	283	66	17	366	67	99	45	211	350	165	62	577
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	70	123	33	226	353	341	165	859	423	464	198	1,085
11月	60	128	58	246	410	241	244	895	470	369	302	1,141
12月	75	113	28	216	322	284	289	895	397	397	317	1,111
1月	48	85	25	158	176	177	84	437	224	262	109	595
2月	38	79	0	117	36	49	0	85	74	128	0	202
3月	58	24	50	132	275	179	133	587	333	203	183	719
合計	873	1,205	410	2,488	2,990	2,357	1,892	7,239	3,863	3,562	2,302	9,727
R2年度	493	756	830	2,079	2,629	2,602	2,053	7,284	3,122	3,358	2,883	9,363
増減	380	449	△ 420	409	361	△ 245	△ 161	△ 45	741	204	△ 581	364

※会議室利用は、8月からの利用制限、9月の臨時休業により実績がないが、前年度比較において増加している。

(3) 浴室、会議室等使用料収入

(単位：円)

月	券売機	回数券	小計	会議室	会議室 利用料還付	その他 公衆電話他	合計	R2年度	増減
4月	365,600	104,000	469,600	49,500	0	220	519,320	5,710	513,610
5月	374,900	94,000	468,900	40,500	△ 1,400	170	508,170	600	507,570
6月	332,800	127,000	459,800	36,300	0	80,090	576,190	314,060	262,130
7月	479,200	152,000	631,200	32,800	0	220	664,220	560,400	103,820
8月	208,300	89,000	297,300	7,100	△ 12,700	170	291,870	596,510	△ 304,640
9月	0	0	0	0	△ 14,800	0	△ 14,800	653,240	△ 668,040
10月	335,700	129,000	464,700	64,900	0	230	529,830	659,950	△ 130,120
11月	453,000	169,000	622,000	13,600	0	290	635,890	637,290	△ 1,400
12月	468,200	126,000	594,200	37,700	0	280	632,180	639,050	△ 6,870
1月	299,700	96,000	395,700	19,900	△ 1,500	130	414,230	551,640	△ 137,410
2月	0	0	0	12,300	△ 16,000	0	△ 3,700	512,070	△ 515,770
3月	204,600	96,000	300,600	22,100	△ 5,900	150	316,950	527,210	△ 210,260
合計	3,522,000	1,182,000	4,704,000	336,700	△ 52,300	81,950	5,070,350	5,657,730	△ 587,380

※ 9月、2月の新型コロナウイルス感染症対策施設利用制限時に会議室利用料の還付申請が集中して発生している。

(4) 健康器具利用料収入

(単位：円)

月	カラオケ	セレクトレックス	マッサージ	合計	R2年度	増減
4月	0	27,000	18,300	45,300	0	45,300
5月	0	23,200	18,100	41,300	0	41,300
6月	0	19,900	18,400	38,300	17,300	21,000
7月	0	14,800	23,100	37,900	29,000	8,900
8月	0	8,600	13,200	21,800	34,000	△ 12,200
9月	0	0	0	0	36,800	△ 36,800
10月	0	13,500	18,200	31,700	40,500	△ 8,800
11月	2,200	17,300	20,800	40,300	37,800	2,500
12月	26,800	12,700	14,500	54,000	31,900	22,100
1月	20,600	12,000	15,300	47,900	33,700	14,200
2月	0	0	0	0	35,400	△ 35,400
3月	0	12,800	12,700	25,500	45,000	△ 19,500
合計	49,600	161,800	172,600	384,000	341,400	42,600

※ 9月、2月の新型コロナウイルス感染症対策による施設利用制限のため利用料収入なし。11月30日から1月23日までカラオケは一時的に再開した。

4 (1)水道光熱及び燃料使用量

月	水道光熱量		燃料使用量 A重油 (単位:L)
	電気 (単位:kwh)	上下水道 (単位:m ³)	
4月	15,059	0	4,000
5月	13,569	1,653	6,000
6月	12,701	0	4,000
7月	14,675	1,661	4,000
8月	22,606	0	4,000
9月	8,291	1,529	0
10月	10,654	0	6,000
11月	15,297	1,355	6,000
12月	18,338	0	6,000
1月	17,737	2,245	6,000
2月	12,337	0	0
3月	12,368	837	6,000
R3 合計	173,632	9,280	52,000
R2 合計	192,672	7,829	50,000
増減	△ 19,040	1,451	2,000

(2) 水道光熱費・燃料費支出

(単位:円)

月	水道光熱費						燃料費	合計	R2年度	増減
	電気	LPガス	炭酸ガス	水道	山田組 電気水道代負担	計	A重油			
4月	243,482	6,874	61,560	0	0	311,916	426,800	738,716	182,475	556,241
5月	237,979	6,874	86,184	395,910	0	726,947	633,600	1,360,547	176,129	1,184,418
6月	229,955	7,237	86,184	0	0	323,376	426,800	750,176	630,351	119,825
7月	270,436	6,148	98,496	397,790	0	772,870	431,200	1,204,070	986,012	218,058
8月	402,754	6,874	73,872	0	0	483,500	440,000	923,500	865,515	57,985
9月	179,374	5,059	24,624	366,710	0	575,767	0	575,767	1,276,692	△ 700,925
10月	217,511	2,881	98,496	0	0	318,888	666,600	985,488	914,593	70,895
11月	292,047	6,874	110,808	322,460	0	732,189	719,400	1,451,589	1,340,379	111,210
12月	349,380	7,237	110,808	0	0	467,425	726,000	1,193,425	949,499	243,926
1月	349,320	6,511	36,936	534,560	0	927,327	712,800	1,640,127	1,142,972	497,155
2月	277,330	6,511	0	0	△ 22,000	261,841	0	239,841	952,680	△ 712,839
3月	290,888	2,881	86,184	203,820	△ 23,000	560,773	759,000	1,296,773	1,320,846	△ 24,073
合計	3,340,456	71,961	874,152	2,221,250	△ 45,000	6,462,819	5,942,200	12,360,019		
R2年度	3,238,847	78,730	960,336	1,873,230	0	6,151,143	4,587,000	10,738,143		
増減	101,609	△ 6,769	△ 86,184	348,020	△ 45,000	311,676	1,355,200	1,621,876		

※燃料費は、9月と2月に臨時休業しているが、A重油の単価上昇のため増額

している。

※黄瀬川護岸工事のため山田組が1階芝生広場に工事管理事務所を設置し電気水道代を負担している。

5 修繕等実施状況（契約価格 10 万円以上）（単位：円）

No.	項 目	金 額	内 容
1	東側斜面防草シート張替工事	379,500	防草シート劣化のため交換
2	3階大広間空調機修理	132,000	制御装置内基盤不良のため交換
3	3階ホール系統空調機屋内機修繕工事	198,000	屋内機起動不能のため修繕
4	有線 LAN 配線工事	559,900	貸出用会議室内 LAN 配線工事 ※セキュリティ対策のため社内 LAN との分離
5	大浴槽水位センサー交換工事	231,000	大浴槽水位センサー異常のため交換
6	事務室 LAN 配線及びコンセント増設工事	173,800	事務局レイアウト変更に伴う LAN 配線引き直し工事
7	オイルサービスタンク用レベルコントローラー交換	286,000	オイルサービスタンク用レベル計異常のため交換
8	事務室無線アクセスポイント設置工事	227,700	事務局レイアウト変更に伴う無線 LAN 設置工事
9	大広間舞台裏中軽量棚設置工事	194,040	施設管理消耗品用の中軽量棚の設置工事
10	事務局レイアウト変更に伴う電話・LAN 設置工事（電話機 2 台増設）	459,800	事務局レイアウト変更に伴う電話機 2 台、LAN 配線の増設
11	西側斜面防草シート工事	423,500	西側テラス斜面管理用として防草シートを設置

6 安全対策

(1) 福祉会館施設利用者の傷害補償
施設利用者を対象とした傷害保険に加入した。

(2) 防災訓練の実施

区 分	実施日	参加者	内 容
危険物安全週間	6月21日（月）	12名	水消火器訓練 避難誘導経路確認 119番通報訓練

(3) 富士山南東消防本部立入検査 今期実績なし

7 その他

- (1) 浴室・大広間の営業時間の延長について（平成25年度から実施）
 勤労者や家族、若年層等の利用促進を図るため、営業時間を延長した。

- ① 期 間 7月1日（木）から12月26日（日）
 6ヶ月間（月曜日を除く、但し月曜祝日は実施）
 ※9月は感染症予防対策のため休館
- ② 延長時間 17時00分から20時30分（3時間30分）
- ③ 利用結果 (単位：人)

月	営業日	利用者数	1日 平均利用者	昨年度 1日平均利用者	増減
7月	27	699	26	21	5
8月	17	445	26	31	△ 5
9月	0	0	0	28	△ 28
10月	27	559	21	28	△ 7
11月	25	648	26	28	△ 2
12月	23	655	28	30	△ 2
合 計	119	3,006	25	28	△ 3

(単位：人)

入館時間帯内訳	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
16:30～17:00	101	72	0	102	134	150	559
17:00～17:30	103	89	0	122	137	112	563
17:30～18:00	107	72	0	82	85	79	425
18:00～18:30	146	97	0	104	111	101	559
18:30～19:00	121	80	0	80	89	125	495
19:00～19:30	121	35	0	69	92	88	405
合 計	699	445	0	559	648	655	3,006

夜間売上内訳	大人券 500円	高齢者 障害者 300円	子供 100円	短時間 200円	合計
7月利用人数	0	128	17	554	699
7月売上	0	38,400	1,700	110,800	150,900
8月利用人数	0	86	23	336	445
8月売上	0	25,800	2,300	67,200	95,300
9月利用人数	0	0	0	0	0
9月売上	0	0	0	0	0
10月利用人数	1	114	14	430	559
10月売上	500	34,200	1,400	86,000	122,100

11月利用人数	0	121	22	505	648
11月売上	0	36,300	2,200	101,000	139,500
12月利用人数	0	104	23	528	655
12月売上	0	31,200	2,300	105,600	139,100
7月～12月利用合計	1	553	99	2,353	3,006
売上合計	500	165,900	9,900	470,600	646,900

(2) 施設の無料開放について

新型コロナ感染拡大防止のため未実施。(県民の日、敬老の日)

(3) 高齢者援護活動の推進

① ふれあい推進事業の充実

今年度は新型コロナウイルス感染症予防のためカラオケなど一部事業を停止した。

事業内容	内 容
カラオケ・舞踊	中止 (11月～1月実施)
卓球	中止
囲碁、将棋、オセロ	用具の貸し出し (随時)

② シニア趣味サークルへの支援

シニア世代の健康の増進と交流による仲間づくりを促進するため、事務的支援を行った。(感染症予防のため利用制限有)

サークル名	活 動 日	時間	会 場
ダンスサークル (スカイブルー)	毎週土曜日	午後	1階遊戯室
将棋サークル	第1・3火曜日	午後	2階教養娯楽室1
囲碁サークル	第2・4火曜日	午後	2階研修室
表千家茶道サークル	第1・3木曜日	午前	2階教養娯楽室2
華道サークル (松風古流)	第1・3水曜日	午前	2階教養娯楽室2

③ 福祉会館利用高齢者に対する送迎の実施【未実施】

今年度は昨年度同様に感染症の予防対策として、浴室・大広間の利用を制限したことに伴い、町内の単位シニアクラブを対象としたマイクロボスの送迎を停止した。そのため自力で送迎可能なシニアクラブ会員が単位クラブ利用日に合わせて浴室・大広間を利用された。

【事業の成果と課題】

高齢者福祉施設として地域諸団体と連携するとともに福祉関係団体等、特に高齢者団体にとって安全かつ利用しやすい公共施設経営に努めた。

施設の指定管理者として4期17年目を迎え、地域のシニア世代、その他の

関係福祉団体等の意向を踏まえつつ、期待される施設機能を十分に活かした事業の企画立案・調整を図っていきたい。

しかしながら、昨年度から引き続き新型コロナウイルス感染症予防対策として、9月の緊急事態宣言発出と2月のまん延防止重点措置による休業によって利用料収入が予算に対して減少している。

そのため、今年度においても収入減を見込んだなかで支出の削減に努め、収支の均衡が図られるよう慎重に施設運営を行った。

今後も新型コロナウイルス感染症の終息宣言がされるまでは、感染症の予防対策を図りつつ行政等と協議しながら施設運営していきたい。

3 介護サービス事業

3-1 居宅介護支援事業

1 事業概要

要介護、要支援、事業対象者と認定された利用者に対し、心身の状況や希望、生活課題を考慮して居宅サービス計画を作成し、本人及び家族の支援を行う。

介護サービスが適切かつ効果的に提供されるよう医療と連携を図り、居宅サービス事業所等の連絡調整、並びに居宅サービスの給付管理を実施する。

2 事業内容

(1) 各種申請に関すること

① 要介護・要支援認定（新規、更新、区分変更）、② 福祉サービスの利用申請 ③ その他、必要な制度利用の申請

(2) ケアプランの作成に関すること

① 居宅サービス計画の作成及び計画後の管理、② 利用者状況の把握
③ サービスの実施状況の把握、④ 関係機関との連絡調整

(3) 地域包括ケアシステムの実現とサービスの質の向上について

① 地域で支え合う仕組みづくりが推進されるよう各種会議や研修会へ出席
② 事業所内での定例の会議や勉強会の開催

3 利用状況

(1) 居宅サービス計画作成件数

月	居宅介護支援件数						介護予防支援・総合事業件数				月間合計
	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	要支援 1	要支援 2	総合 事業	計	
4月	28	26	21	5	5	85	13	25	4	42	127
5月	30	26	21	5	4	86	12	26	5	43	129
6月	32	25	23	6	4	90	12	25	5	42	132
7月	33	27	22	5	4	91	11	28	5	44	135
8月	34	25	23	4	3	89	11	28	5	44	133
9月	34	28	22	4	3	91	7	30	4	41	132
10月	34	29	19	8	3	93	6	30	4	40	133
11月	32	30	21	9	3	95	6	30	4	40	135
12月	33	27	24	9	3	96	7	30	5	42	138
1月	33	29	24	7	4	97	7	29	4	40	137
2月	32	30	23	6	4	95	7	26	5	38	133
3月	29	28	23	8	2	90	8	28	5	41	131
R3 合計	384	330	266	76	42	1,098	107	335	55	497	1,595
R2 合計	360	296	227	114	65	1,062	137	310	69	516	1,578
増減	24	34	39	△38	△23	36	△30	25	△14	△19	17

(2) 加算・減算の状況

	加 算							減 算	
	初回	退院 退所	入院	通院時 連携加算	ターミナ ルケア	特事 Ⅲ	特事 Ⅱ	運営	集中
4月	3	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	1	0	2	3	0	0	0	0	0
6月	5	0	4	3	0	0	0	0	0
7月	3	3	3	2	0	0	0	0	0
8月	1	0	2	4	0	0	0	0	0
9月	5	0	3	1	0	0	0	0	0
10月	0	5	1	3	0	0	0	0	0
11月	3	1	2	3	0	0	0	0	0
12月	1	0	0	3	0	0	0	0	0
1月	3	1	1	3	0	0	0	0	0
2月	4	0	1	3	0	0	0	0	0
3月	1	0	2	3	0	0	0	0	0
R3 合計	30	10	21	31	0	0	0	0	0
R2 合計	31	2	11	—	0	0	0	0	0
増 減	△1	8	10	31	0	0	0	0	0

4 居宅介護支援実績

	介護実績	支援実績	新規受入れ	終了者
R3 合計	1, 0 9 8	4 9 7	3 0	7
R2 合計	1, 0 6 2	5 1 6	2 3	1 6
増 減	3 6	△ 1 9	7	△ 9

5 研修・会議

- (1) 所内ケアマネ定例会議：毎週 1 回
- (2) 事例検討会：3 回（6/9、10/13、12/15）
- (3) わくわくケア～の会：5 回（6/9、8/18、10/13、12/15、2/9）
- (4) その他、業務遂行に必要な会議、研修
（連絡会・在宅医療介護連携推進会議等）

※新型コロナウイルス感染症対策にて、外部研修はオンラインが主となった。

【事業の成果と課題】

昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、訪問や会議、研修等を計画通りに実施する事が困難な時があった。また、感染者や濃厚接触者が確認された事業所の休業等が複数あり、提供するサービスの調整を行う必要が多くあった。

会議、研修には可能な限りオンラインで参加をし、ご利用者にはご意向を伺い何度か確認をしてお気持ちを尊重しながら提供するサービスの調整を行うことに

努めた。

事業所内では職員自身も健康管理を行い、万が一、自宅待機になった時を想定して、担当ケースの共有、リモートでの業務の検討など適切に対応できる方法を話し合った。

また、2回目となる満足度アンケートでは、利用者・家族、関係機関ともに8割近くのご回答をいただいた。貴重な時間で対応して下さったことに感謝し、結果を無駄にすることなく事業所全体でスキルアップできるようにしたい。

3-2 指定通所介護事業

1 事業概要

利用者の心身の特性を踏まえて、利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、また利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びにその家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るために必要な日常生活上の世話及び機能訓練等の介護、その他必要な支援を行う。利用者すべてが町民であり、地域密着型通所介護事業所として地域福祉の充実に取り組んでいる。

事業理念「かけがえのない あなたと共に」～楽しく・笑顔・よりそい～

定員 指定地域密着型通所介護、介護予防通所介護 18人/日

2 職員の概要

職 種	常勤	非常勤	常勤換算
管 理 者	1	0	1
生活相談員	1	1	1.2
介 護 職 員	1	7	4.7
看 護 職 員	0	3	1.2
機能訓練指導員(兼務)	(0)	(3)	(1.2)

3 営業時間

営 業 日	月曜日～土曜日 12月29日から1月3日までを除く
営業時間	午前9時15分～午後4時25分(送迎時間は除く)

4 事業内容

- ① 生活指導 ② 日常生活動作訓練 ③ 介護サービス ④ 送迎サービス
 ⑤ 健康状態の確認 ⑥ 給食サービス ⑦ 入浴サービス ⑧ 介護方法の指導
 ⑨ 個別機能訓練



実習生と洗濯たたみ



東京五輪壁画制作

5 監査及び行政機関調査の実施状況

なし

6 利用状況

	開所 日数	登録者数		利用延人数		主 な 行 事 等
		通介	予通	通介	予通	
4月	26	27	2	270	12	
5月	26	26	3	276	17	
6月	26	25	2	278	17	
7月	26	25	2	285	15	納涼祭
8月	26	26	1	298	7	
9月	26	27	1	303	9	敬朗会
10月	26	29	2	365	15	
11月	26	31	2	321	17	
12月	24	33	2	303	11	クリスマス会
1月	24	30	3	278	16	
2月	23	30	3	269	12	節分
3月	23	25	2	299	10	ひな祭り
R3 期間 計	302	334	25	3,545	158	
R2 期間 計	308	360	27	3,930	193	
増 減	△6	△26	△2	△385	△35	

7 令和3年度の取り組み

- (1) 季節感のある居室等の装飾（新緑、花、海、お月見、七夕、花火）
- (2) 敬朗会（利用者プレゼント作成）
- (3) 干支（小物作成）

8 内部研修状況

開 催 日	内 容	参加人数
5月18日	認知症の基礎的理解	6名
7月13日	カンファレンスとチームケア	8名
9月14日	ご本人への理解とかわり方	5名
11月16日	実際の実例を通じたカンファレンス	7名
1月18日	ご家族への対応と連携	8名

WEB 研修状況

開 催 日	内 容	参加人数
6月21日	福祉職員のメンタルヘルス講座	1名（看護師）
7月9日	排泄ケアセミナー	1名（一般型）
8月28日	相談員のための支援力アップ講座	1名（一般型）

9 ボランティアの協力、活動支援ボランティア受入状況

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、各種ボランティアの受け入れを休止している。

10 介護実習の受け入れ状況

新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ実習を行った。

実習生受け入れ

受入期間	体験学習依頼団体	内 容	人 数
6 月 7 日～6 月 11 日	知徳高校 2 年	介護体験実習	2 名
9 月 6 日～9 月 10 日	知徳高校 1 年	介護体験実習	中止
9 月 13 日～9 月 17 日	知徳高校 1 年	介護体験実習	中止
11 月 1 日～11 月 12 日	知徳高校 1 年	介護体験実習	4 名
12 月 23 日～12 月 24 日	知徳高校 1 年	介護体験実習	5 名
		R 3 期間計	11 名

11 防災訓練の実施

(1) 危険物安全週間における訓練

実施日：6月11日（金）13時45分から14時20分まで

参加者：職員16名、利用者一般型10名 認知症対応型5名

内 容：火災時における避難経路確認・誘導訓練・通報訓練

(2) 地震防災訓練

実施日：11月19日（金）13時30分から14時45分まで

参加者：職員12名、利用者一般型8名 認知症対応型2名

福祉保険課1名、地域の方1名

内 容：火元責任者による安全確認。発災時の避難誘導手順の確認及び避難経路の確認、被災状況確認の徹底。消火訓練

【事業の成果と課題】

今期の新規の利用者は11名、利用終了者は13名であった。全体での延べ者数は、前年同期比で減少している。

事業理念「かけがえのない あなたと共に」～楽しく・笑顔・よりそい～を合言葉に、地域密着型通所介護事業の利用者へのサービス提供向上とともに、職員一人ひとりがかけがえのない仲間であることを意識して、チームケア向上を図った。

昨年に引き続き飛沫予防のパーテーションの設置、手洗い、手指消毒の徹底などの感染症対策を徹底し、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し、生活リハビリを主とする体操に力を入れた。今後も不活発な生活による日常生活動作の低下を予防し、体操やレクリエーションの充実を図っていく。

経営面の課題としては、延べ利用者数が減少していることから、新規利用者の獲得に向け努力していく。

3-3 指定認知症対応型通所介護事業

1 事業概要

市町村が事業者の指定及び監督を行う地域密着型サービスが創設され、現在、いずみの郷認知症対応型通所介護事業所は町内唯一の指定を受けている。その役割使命を認識し、従来より実践されている認知症高齢者への通所介護サービスおよび介護者への支援をもって、在宅生活の継続支援を行った。

事業理念「あなたらしく 私らしく」～心地よい場所・安心できる時間～

定員 認知症対応型通所介護、介護予防認知症対応型通所介護 12人/日

2 職員の概要

職種	常勤	非常勤	常勤換算
管理者	1	-	0.5
生活相談員	1	1	1.2
介護職員	1	2	2.2
看護職員	0	3	1.2
機能訓練指導員(兼務)	(1)	(1)	(1.2)

3 営業時間

営業日	月曜日～土曜日 12月29日から1月3日までを除く
営業時間	午前9時15分～午後4時25分(送迎時間は除く)

4 事業内容

- ① 生活指導
- ② 日常生活動作訓練
- ③ 介護サービス
- ④ 送迎サービス
- ⑤ 健康状態の確認
- ⑥ 給食サービス
- ⑦ 入浴サービス
- ⑧ 介護方法の指導
- ⑨ 個別機能訓練



ドールセラピー



壁画制作

5 監査及び行政機関調査の実施状況

長泉町による実地指導 令和3年11月9日 文書指導なし

6 利用状況

	開所日数	登録者数	利用延人数	主 な 行 事 等
4月	26	13	164	
5月	26	13	163	
6月	26	13	164	
7月	26	13	155	納涼祭
8月	26	12	151	
9月	26	12	152	敬朗会
10月	26	12	135	
11月	26	12	136	
12月	24	11	123	クリスマス会
1月	24	10	115	
2月	23	10	112	節分
3月	23	9	89	ひな祭り
R3 期間計	302	140	1,659	
R2 期間計	308	161	1,684	
増減	△6	△21	△25	

※指定介護予防認知症対応型通所介護は利用実績なし

7 令和3年度の取り組み

- (1) 季節感のある居室装飾（桜、新緑、あじさい、こいのぼり、海、祭り）
- (2) 裁縫（雑巾、袋作り・小物入れ）

8 内部研修状況、ボランティアの協力、福祉教育、介護実習受け入れ状況、防災訓練の実施内容に関しては、指定通所介護事業に記載の通り。

【事業の成果と課題】

今期の新規の利用者なし、利用終了者は3名であった。全体での延べ利用者数は前年同期比で減少している。

利用者一人ひとりの認知症の進行がみられており個別対応が求められる場面が多くみられるようになった。事業理念「あなたらしく 私らしく」～心地よい場所・安心できる時間～を合言葉に、利用者が自分らしく過ごせる環境づくりを行ない、デイサービスが心地良く、安心できる場所となるよう努めた。認知症の進行により、家族の在宅での介護負担がみられるケースもあり、介護者の支援にも力を入れ取り組んだ。

また、今期は認知症に関する内部研修を実施し、職員の認知症ケアの質の向上、ケアの見直しを図り、よりよいサービス提供が出来るよう努めている。

今後は新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、地域密着型デイサービス

として、地域ボランティアの受け入れや家族会の開催、地域住民の方への認知症への理解を発信していくことを検討していく。

3-4 指定訪問介護事業

1 事業概要

利用者の尊厳を保持し、要介護者等の介護状態の軽減若しくは悪化の防止に努め、介護状態となることの予防に資することを目的として、その利用者の有する能力に応じ、住み慣れた自宅において自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護、その他の生活全般にわたる援助を行う。

2 事業内容

(1) 身体介護に関すること

- ① 入浴の介助、② 排泄の介助、③ 食事の介助、④ 衣類着脱の介助
⑤ 清拭、⑥ その他必要な身体介護

(2) 生活援助に関すること

- ① 調理、② 衣類の洗濯、補修、③ 住居等の掃除、整理整頓
④ 生活必需品の買物、⑤ 関係機関との連絡、⑥ その他必要な家事

(3) 混合型（①身体介護、②生活援助）

3 利用状況

利用者数・派遣延べ時間

(単位：人・時間)

	訪問介護					総合事業		総合計	
	利用者数 (人)	身体 (時間)	混合 (時間)	生活 (時間)	計 (時間)	利用者 数 (人)	派遣時間 (時間)	総利用者数 (人)	総派遣時間 (時間)
4月	27	109.0	221.0	48.0	378.0	15	92.0	42	470.0
5月	26	102.5	172.0	46.5	321.0	14	80.0	40	401.0
6月	28	121.0	216.5	62.0	399.5	13	81.0	41	480.5
7月	29	119.0	242.5	56.5	418.0	13	84.0	42	502.0
8月	29	116.5	228.0	58.0	402.5	13	76.0	42	478.5
9月	28	123.5	222.0	59.0	404.5	13	71.0	41	475.5
10月	28	113.0	191.0	54.5	358.5	12	68.0	40	426.5
11月	26	111.5	191.0	54.0	356.5	13	75.0	39	431.5
12月	26	89.5	194.0	54.5	338.0	13	74.0	39	412.0
1月	25	92.0	194.0	65.5	351.5	13	75.0	38	426.5
2月	24	75.0	195.0	76.5	346.5	13	76.0	37	422.5
3月	23	91.5	201.0	61.0	353.5	14	82.0	37	435.5
R3 合計	319	1,264	2,468	696	4,428	159	934	478	5,362
R2 合計	248	1,085.5	2,195.5	343	3,624	207	1,286	455	4,910
増減	71	178.5	272.5	353	804	△48	△352	23	452

4 ヘルパー内部研修状況

開催日	内 容	参加人数
4月10日	利用者情報・支援変更・モニタリング報告・連絡事項・情報共有・視覚障がい者の音読機・リスクマネジメント・介護事故を防ぐための介護技術について	13名
5月29日	利用者情報・支援変更・モニタリング報告・ヒヤリハット報告・自己点検チェックリスト・高齢者に見られる疾患・症状の基礎知識・認知症者のコミュニケーション方法バイステック7原則について	12名
6月19日	利用者情報・支援変更・モニタリング報告・食中毒の基本知識・感染症の蔓延防止のために気を付けたいこと	11名
7月17日	利用者情報・支援変更・モニタリング報告・連絡事項・介護職のモチベーションアップのためのおもしろ介護動画視聴	13名
8月21日	利用者情報・支援変更・モニタリング報告・新型コロナウイルス感染症発生時対応事業継続計画 ※まん延防止期間にてLINEを使用した研修	13名
9月11日	利用者情報・支援変更・連絡事項・モニタリング報告 ※まん延防止期間にてLINEを使用した研修	13名
10月9日	利用者情報・支援変更・連絡事項・モニタリング報告・高齢者虐待について	13名
11月13日	利用者情報・支援変更・連絡事項・モニタリング報告・ホームヘルパーのできること・介護技術チェックリスト	14名
12月11日	利用者情報・支援変更・連絡事項・モニタリング報告・看取り・ターミナルケアについて	15名
1月15日	ヘルパー研修（利用者情報確認・連絡事項・モニタリング集計・支援計画変更の必要性について）	13名
2月19日	利用者情報・支援変更・連絡事項・モニタリング報告・事例検討※まん延防止期間にてLINE研修	15名
3月19日	利用者情報・支援変更・連絡事項・モニタリング報告・事例検討※まん延防止期間にてLINE研修	15名

5 その他

静岡県ホームヘルパー連絡協議会の役員を努め、駿東圏域の医療、福祉、介護の団体等で構成する地域包括ケア推進ネットワークメンバーとして活動した。また、長泉町自立支援協議会の事業所部会に参加し、町内の障がい者支援について検討し、活動した。新型コロナウイルス感染症や災害時の、事業継続計画を策定した。職員全体でのメンタルヘルスやハラスメント研修を行った。

【事業の成果と課題】

要支援から要介護に移行した利用者がいたため、総合事業の利用者数、派遣時間が減少した。要介護の利用者については、できる限り在宅で生活したいとの希望を叶えるため、支援を増やし、安全に生活できるよう配慮した。また、在宅での看取りを希望された利用者も数名おられ、医療と連携を図り、1日に3回の支援を行う等、身体介護中心の利用者の看取り介護を行った。新規依頼もできる限り受け入れ、職員一丸となって利用者の在宅生活を支えた。

R4年2月からの介護職員処遇改善支援補助金を申請し介護職員の賃金改善に取り組み、事業の成果についてもチームのスキルが向上し、生産性が上がった。

3-5 障害福祉サービス 居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業

1 事業概要

利用者の尊厳を保持し、豊かな生活を実現するため、身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護、その他の生活全般にわたる必要な援助を行った。

2 事業内容

(1) 身体介護に関すること

- ① 入浴の介護、② 排泄の介護、③ 食事の介護、④ 衣類着脱の介護、⑤ 身体の清拭
⑥ 外出時の介助、⑦ その他必要な身体介護

(2) 家事援助に関すること

- ① 調理、② 衣類の洗濯や補修、③ 住居等の掃除や整理整頓、④ 生活必需品の買い物
⑤ 関係機関との連絡、⑥ その他必要な家事

(3) 相談及び助言に関すること

- ① 生活、身上、介護に関する相談助言、② その他必要な相談助言

3 利用状況

(単位：人・時間)

	身体障害者				知的障害者				精神障害者				合計		
	利用者数	派遣回数	派遣時間		利用者数	派遣回数	派遣時間		利用者数	派遣回数	派遣時間		利用者数	派遣回数	派遣時間
			身体	家事			身体	家事			身体	家事			
4月	17	294	315.0	45.5	4	36	4.0	31.0	9	41	10.5	37.5	30	371	443.5
5月	17	283	280.0	45.5	4	36	5.5	30.5	8	44	12.0	40.0	29	363	413.5
6月	16	297	307.5	40.5	4	40	4.5	34.0	8	44	12.0	39.5	28	381	438.0
7月	16	282	282.0	39.5	5	38	3.0	36.0	9	44	14.5	37.0	30	364	412.0
8月	15	286	276.5	45.5	4	38	3.5	37.0	8	43	11.5	37.5	27	367	411.5
9月	16	297	275.5	44.0	5	37	3.0	35.5	7	48	12.0	38.0	28	382	408.0
10月	16	308	289.5	45.0	6	41	4.0	38.0	8	46	13.5	41.5	30	395	431.5
11月	15	290	297.0	43.0	5	37	3.0	35.0	8	43	12.0	40.0	28	370	430.0
12月	16	283	289.0	43.5	5	38	3.0	36.5	6	37	13.0	33.5	27	358	418.5
1月	16	281	270.0	42.0	4	35	3.0	34.0	7	37	12.0	35.0	27	353	396.0
2月	16	288	260.0	38.5	5	35	4.5	32.5	6	35	11.5	32.5	27	358	379.5
3月	15	323	313.0	45.0	6	36	3.5	20.5	7	41	13.0	40.5	28	400	435.5
R3 合計	191	3,512	3,455	517.5	57	447	44.5	400.5	91	503	147.5	452.5	339	4,462	5017.5
R2 合計	193	3,265	3,413	584.0	73	476	88.5	397.5	100	469	126.5	464.5	366	4,210	5,074
増減	△2	247	42	△66.5	△16	△29	△44	3	△9	34	21	△12	△27	252	△56.5

【事業の成果と課題】

自立支援の成果として、派遣なしとなった利用者もおられ、利用者数減となった。派遣回数については、身体障がい者の派遣が増となったが、在宅での生活を維持するために必要な結果であった。コロナ渦においても事業を継続し、R4年2月からの福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金を申請し、介護職員の賃金改善に取り組み、事業の成果についても前年度対比＝収益増となった。今後もヘルパーの人材確保に取り組み、事業の体制強化を図っていく。

3-6 移動支援事業

1 事業概要

利用者の尊厳を保持し、屋外での移動が困難な身体障害者、知的障害者、精神障害者、発達障害者の外出支援を行い、地域における自立生活および社会参加を促すことを目的として、社会生活上必要不可欠な外出や余暇活動などへの参加のための移動を支援する。ただし、通勤通学等常時利用する場合は対象外となる。

2 事業内容

(1) 移動介助に関すること

① 通院等の介助、② 社会参加等の移動支援

(2) 相談及び助言に関すること

① 生活、身上、介護に関する相談助言、② その他必要な相談助言

3 利用状況

	利用者数（人）	派遣回数（回）	派遣時間（時間）
4月	4	7	15.0
5月	6	13	27.0
6月	6	10	24.0
7月	8	13	36.0
8月	4	8	35.0
9月	5	12	30.0
10月	4	11	33.5
11月	9	16	35.5
12月	5	10	28.5
1月	6	11	29.0
2月	7	13	24.5
3月	7	11	25.5
R3 合計	71	135	343.5
R2 合計	59	123	284.5
増 減	12	12	59

4 その他

長泉町福祉保険課と連携を図り、利用者の個々のニーズに対応した。

【事業の成果と課題】

利用者数、派遣回数、派遣時間ともに増となり、移動支援を希望する新規依頼もあり実績は増加した。コロナ渦であっても、事業が継続できるよう BCP を策定し、誰もとり残さないよう支援を行った。

3-7 地域活動支援センター事業（長泉町受託事業）

1 事業概要

障がい者の創作的活動、機能訓練等のサービスを通所事業として提供することにより、自立促進、生活改善、身体機能の維持向上等を図り、自立と社会参加を促進することを目的としている。

利用者が自らの動機づけを失わないようなケアを実施し、手段的日常生活動作（外出、買物、食事の支度など）の促進を図る。特に同様の障がいをもつ方との情報交換や意見交換、歩行や軽スポーツによる体力向上、地域社会との交流を通して、精神的な安定や気力を保ちながら明確な目標をもてるよう、障害福祉サービスの利用や多様な地域交流への参加について実践する。

2 事業内容

- ① 創作的活動事業（趣味・余暇活動）、② 社会適応訓練（外出訓練）
③ 機能訓練、④ 給食サービス、⑤ 入浴サービス、⑥ 送迎サービス

3 利用状況

月	開所日数	登録者数	利用延人数	主な行事等
4月	21	9	43	鯉のぼりの壁画作り・桜の壁画作り
5月	18	9	44	鯉のぼりの壁画作り・編み物
6月	22	9	55	避難訓練参加・スキルビーズ
7月	20	9	44	七夕の短冊飾りつけ・習字
8月	21	9	48	朝顔の壁画作り
9月	20	9	45	葡萄の壁画作り
10月	21	9	42	ハロウィンの壁画作り
11月	20	9	50	雪だるまの壁画作り
12月	20	9	54	羽子板作り
1月	19	9	60	お正月の習字
2月	17	10	47	節分の鬼作り
3月	19	10	55	桜の壁画作り
R3 合計	238	110	587	
R2 合計	234	144	642	
増減	4	△34	△55	

4 活動報告

- (1) 外出訓練：コロナ感染拡大防止のため外出活動は自粛
- (2) 趣味活動：書道、パズル、絵画
- (3) 創作活動：各月のクラフト、壁装飾作品
- (4) 運動療法的活動：歩行訓練、健康体操、リハビリ室トレーニング
- (5) 作業療法的活動：脳トレ、アイロンビーズ、編み物、スキルビーズ

【事業の成果と課題】

今期は既存の利用者が1名町外転居となったため、一時的に登録者数は1名減になったが 新規利用者が新たに2名増え、登録人数が1名増になり、利用延べ人数が11月頃より増加した。

日中の活動として、興味を示す活動が個々で異なることから、個々の希望に沿って活動した。また、完成した作品を通路に展示することにより、利用者がお互いの活動や作品に関心を持ち、会話が弾み、刺激にもなった。

新型コロナウイルス感染症対策として、送迎前検温の実施、到着時の手洗い消毒、居室及び送迎車の換気等を徹底した。利用者同士の距離を保った。

今後も利用者及び職員の検温、手洗い、手指消毒、居室及び送迎車の換気等、基本的な感染症対策を徹底して実施していく。

II 公益事業

1 在宅福祉総合センター

1-1 在宅福祉総合センター事業（長泉町指定管理事業）

1 事業目的

在宅福祉総合センターいずみの郷は、在宅で援護を必要とする高齢者や障がい者に、総合的なサービスを提供する設備を整備し、既存の福祉会館と連携し、町の福祉の拠点として設置された。当会は、町の指定管理者として、施設利用による住民相互の交流を図るため、集会室、研修室を月曜日から土曜日まで開館し、各種団体の会議や研修会等に施設を提供した。

2 管理業務の状況

(1) 総合清掃管理業務

① 日常清掃（土・日・祭日及び年末年始を除く毎日）

床面清掃・吸殻処理・紙くず処理・什器備品の除塵・トイレ清掃・給湯室・扉・浴室床面・浴槽・駐車場、外周・タイル、カーペット・施設内設備等

② 定期清掃（年1回～6回）

長尺塩ビシート、リリウム床シート、ビニール床タイル・フローリング・窓ガラス（年6回）
タイル、カーペット、厨房内清掃（年2回）

床面剥離洗浄清掃、アルミカーテンウォール清掃（年1回）

(2) 総合設備管理業務

① 施設巡回保守点検業務

② 空調設備保守点検業務

③ 給水設備保守点検業務

④ 排水設備保守点検業務

⑤ 消防設備保守点検業務

⑥ 昇降機設備保守点検業務

⑦ 自動扉設備保守点検業務

(3) 衛生管理業務

① 室内空気環境測定業務

② 害虫等防除業務

③ 貯水槽清掃及び水質検査業務

④ 湯水（レジオネラ菌）検査

(4) 夜間機械警備業務（毎日）

(5) 電気保安業務（月1回）

3 施設利用状況（令和3年4月～令和4年3月）

(1) 会議室等件数・利用率及び利用料収入

月	集会室		研修室		貸館利用料 収入 (単位：円)
	件数 (単位：件)		件数 (単位：件)		
	有料	無料	有料	無料	
4月	5	13	2	3	11,600
5月	3	8	0	1	10,000
6月	4	12	1	4	6,800
7月	5	8	0	4	14,000
8月	2	2	0	1	6,000
9月	0	0	0	0	0
10月	6	12	1	2	10,800
11月	8	19	1	6	16,800
12月	9	12	0	1	14,800
1月	5	5	1	1	10,000
2月	0	1	0	2	0
3月	1	13	0	6	4,000
R3 期間計	48	105	6	31	104,800
R2 期間計	31	94	0	32	62,000
増 減	17	11	6	-1	42,800

* 夜間貸出なし

(2) 長泉町在宅福祉総合センター利用者数

(単位:人)

月	開所 日数	集会室			研修室			合 計
		有 料	無 料	小 計	有 料	無 料	小 計	
4月	26	75	210	285	2	15	17	302
5月	26	26	180	206	0	10	10	216
6月	27	66	216	282	9	28	37	319
7月	27	63	163	226	0	17	17	243
8月	17	14	34	48	0	5	5	53
9月	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	26	69	197	266	3	16	19	285
11月	26	109	334	443	0	36	36	479
12月	24	129	235	364	0	10	10	374
1月	24	65	68	133	8	10	18	151
2月	24	0	10	10	0	16	16	26
3月	27	9	153	162	0	28	28	190
R3 期間計	274	625	1,800	2,425	22	191	213	2,638
R2 期間計	280	661	2,195	2,856	0	241	241	3,097
増 減	△6	△36	△395	△431	22	△50	△28	△459

【新型コロナウイルスまん延防止対策の経緯】

町公共施設として新型コロナウイルス感染症対策について、町と協議し、感染状況レベルに応じて利用を制限しながら開館した。

- ・ 8月21日から9月30日までの間、緊急事態宣言により臨時休館
- ・ 10月1日から14日まで目的別に利用定員を制限し開館
「会議形式」の利用は定員、「体操・ダンス・発声や歌唱、吹奏楽器の演奏等」における利用は定員の1/2までとする
- ・ 1月24日から2月28日までの間、まん延防止等重点措置適用
「会議形式」のみ、定員の1/2までに制限し開館
- ・ 3月1日から利用制限を継続し開館
- ・ 3月22日から利用制限を緩和
「会議形式」の利用は定員、「体操・ダンス・発声や歌唱、吹奏楽器の演奏等」における利用は定員の1/2までとする

※利用定員について

会議室等	従来の定員数	収容定員数の1/2	利用時間
集会室	120人	60人	9:00～12:30
研修室	30人	15人	13:00～16:30

4 水道光熱及び燃料使用量

月	水道光熱使用量				水道光熱費 (単位：円)
	電 気 (単位：kwh)	都市ガス 給湯 (単位：m ³)	都市ガス 空調 (単位：m ³)	上下水道 (単位：m ³)	
4月	17,885	1,671	0		446,036
5月	12,173	1,694	0	1,045	655,891
6月	14,614	1,553	431		454,037
7月	16,452	1,346	1,316	958	783,130
8月	19,486	1,458	3,986		778,611
9月	18,597	1,432	2,850	1,050	971,385
10月	15,889	1,414	1,744		593,271
11月	15,271	1,505	771	898	874,607
12月	17,327	1,902	1,497		707,189
1月	19,844	1,615	2,307	939	1,188,289
2月	21,908	1,922	2,954		1,022,385
3月	17,234	1,526	2,134	845	1,184,872
R3 期間計	206,680	19,038	19,990	5,735	9,659,703
R2 期間計	247,522	20,665	0	7,261	4,555,335

○水道光熱費・燃料費については、各サービス区分にて面積按分を行っている。
空調設備入替工事より灯油（燃料費）廃止。都市ガス（水道光熱費）へ変更。

5 安全対策

(1) 在宅福祉総合センター入場者傷害保険

施設利用者を対象とした傷害保険に加入した。

1名あたりの担保内容、年間保険料

種 別	補償額	備 考
死亡・後遺障害	500万円	施設利用者を対象とする。
入院日額	4,000円	事故の日から180日を限度とする。
手術	外 来20,000円 入院中40,000円	1事故に対して1回とする。
通院日額	2,500円	事故の日から180日の間のうち、90日の通院を限度とする。

(2) 防災訓練の実施

① 危険物安全週間における訓練

実施日：6月11日（金）13時45分から14時20分まで

参加者：職員16名、利用者15名

内 容：避難経路確認・救急訓練・通報訓練、館内消火器、消火栓配置確認。

② 地震防災訓練

実施日：11月19日（金）13時30分から14時45分まで

参加者：職員12名、利用者10名、地域の方1名、福祉保険課1名

内 容：人的・物的被害の把握及び利用者避難誘導及び人命救助方法確認。

水消火器による消火訓練、消防署及び関係機関通報伝達方法確認。

福祉避難所受入訓練。

6 修繕等実施状況（10万円以上）

（単位：円）

項 目	金 額	内 容
集会室・研修室 LAN 配線工事	203,500	インターネット専用回線接続用配線取付
アトリウム天井照明 LED 化改修工事	605,000	電球切れのため LED へ改修
アトリウム空調自動制御装置更新	528,000	自動制御装置故障のため更新
エレベーター停電最寄階運転装置用 バッテリー更新	308,000	不良のためバッテリー更新
集会室ダウンライト LED 化改修工事	330,000	水銀灯のため LED へ改修
集会室及び食堂自動開閉装置更新	510,400	自動開閉装置故障のため更新

【事業の成果と課題】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための利用制限を緩和することで、利用状況は回復傾向が見られた。

しかし、緊急事態宣言により8月21日から9月30日まで休館した。(デイサービスは継続)

利用制限の緩和により利用件数は集会室、研修室共に前年同期比で増加となった。

今後も引き続き、日々の情報を精査し、「安心・安全の確保」を第一に利用状況の回復に努め、サービスの向上に取り組んでいく。

管理に係る費用としては、4～5月に空調設備入替工事が行われ、稼動燃料が灯油(燃料費)から都市ガス(水道光熱費)へ変更になり、経費節減効果に繋がった。しかし、原油高騰や円安の影響により都市ガス、電気等の単価上昇がみられるため、動向に注意し、全体での支出の削減に努めていく。

1-2 在宅福祉総合センター食堂事業

1 事業目的

在宅福祉総合センター食堂事業は、一般食堂及びデイサービスの給食を提供している。また、地域住民の憩いの場としての役割も果たしている。

2 職員の概要

管理栄養士1名 調理員2名（うち1名 障害者雇用）

シルバー人材センター派遣2名

3 一般食堂食数内訳及び売上金収入

月	定食	カレー・ 麺類他	惣菜	仲良会	調理員 昼食	相談員 検食	給食 ボランティア	その他	合計 (単位:食)	売上金 (単位:円)	サビオカ 利用者 延人数 (単位:校)
4月	107	3	356	0	25	26	0	0	517	115,075	0
5月	109	0	273	0	25	26	0	1	434	107,228	0
6月	83	0	334	0	24	26	0	2	469	100,666	0
7月	84	1	260	0	22	26	0	0	393	92,230	0
8月	53	0	47	0	18	26	0	1	145	54,420	0
9月	0	0	0	0	19	26	0	0	45	22,885	0
10月	81	0	0	0	17	26	0	3	127	64,705	0
11月	72	0	0	0	15	26	0	6	119	60,375	2
12月	70	0	0	0	16	24	0	2	112	56,940	2
1月	61	0	0	0	16	24	0	0	101	51,140	6
2月	37	0	0	0	14	24	0	0	75	38,510	0
3月	73	0	0	0	15	23	0	1	112	59,600	0
R3期間計	830	4	1,270	0	226	303	0	16	2,649	823,774	10
R2期間計	1,144	16	2,612	0	290	308	4	13	4,393	1,142,089	0
増減	△314	△12	△1,342	0	△64	△5	△4	3	△1,744	△318,315	10

4 デイサービス給食売上食数内訳及び売上金収入

月	通所介護 事業 (単位：食)	認知症対応型 通所介護事業 (単位：食)	地域活動 支援センター (単位：食)	合 計 (単位：食)	売上金 (単位：円)
4月	282	164	43	489	317,850
5月	299	162	43	504	327,600
6月	297	162	54	513	333,450
7月	294	155	43	492	319,800
8月	314	151	48	513	333,450
9月	301	152	44	497	323,050
10月	314	135	40	489	317,850
11月	316	136	44	496	322,400
12月	312	123	48	483	313,950
1月	276	121	41	438	284,700
2月	249	112	37	398	258,700
3月	216	89	46	351	228,150
R3 期間計	3,470	1,662	531	5,663	3,680,950
R2 期間計	4,143	1,683	620	6,446	4,189,900
増 減	△673	△21	△89	△783	△508,950

5 給食ボランティア参加状況

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種ボランティアの受け入れを休止している。

6 実習生受け入れ

受入期間	実習依頼団体	内容	人数
10月18日～22日	日本大学短期大学部	食物学科実習	3
10月25日～29日	日本大学短期大学部	食物学科実習	3
11月8日～12日	小田原短期大学	食物学科実習	1

【事業の成果と課題】

コロナ禍におけるひとり暮らし高齢者給食「仲良し会」事業終了や昨年度から引き続き感染症対策として給食ボランティア受け入れを休止している。

今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、食堂は引き続き席数を10席に減数し、感染症対策を行った上で営業を継続した。緊急事態宣言により8月21日から9月30日までは一般食堂及び総菜販売を休業した。その後、惣菜の販売を終了し、一般食堂は販売数を5食限定にて営業。デイサービスの利用者減少の影響もあり、売上げは昨年度より減少となった。

実習生の受入は、感染症対策のため人数を分散し受け入れを行った。

赤字経営であるため、食堂や給食の調理数が減になったことから、調理員の実働数を見直した。同時に、仕入れ業者の廃業を受け3月より加工済食材の導入を試行し、人件費及び材料費の支出削減に努めた。引き続き赤字経営の課題を検討し、事業見直しを行う。

事業報告の附属明細書

令和3年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告書の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人長泉町社会福祉協議会